

323

455



始



323-455



英漢
對譯

泰西格言集

醒軒 吾妻兵治 著

大正
11. 11. 16
內交

序

余嘗て故醒軒吾妻兵治君と、根本通明翁の家塾義道館にて相識る、君幼時翁に師事し經學を修め、長じて中村敬宇設くる所の同人社に學び、洋學を修む、又文を能くす、敬宇其才學を愛し、擧げて同社教授に任ず、後、外務省翻譯官、陸軍教授となる。

君の生涯に最も特書すべきは、國家的事業に盡瘁したることは是れなり、明治二十七八年、日清戰役後、君深く自ら期する所あり、朝野の碩學鴻儒を網羅して、善鄰譯書館と云ふを設立し、有益の著書を刊行して、清韓國民を誘導啓發して、以て我東洋永遠平和の基礎を確立せんと企てたれども、時利あらずして、團匪の亂起り、禍難相踵ぎ、加之、福州に於て俄に疾に罹り、其事業頓挫を來し、爾來身體健康勝れず、竟に軼軻不遇の生涯を以て終りたるは、實に余の同情痛歎に堪えざる所なり、然れども、人事豈成敗の跡を以て論すべけんや、余は私に君を偉大なる先覺者、憂國の士なりと謂ふを憚らざるなり。

頃者、君の遺著、英漢和對譯泰西格言集上梓の企てあり、遺子貞勝君來りて余に序文を

求む。曰く、先生嘗て先考と親交あり、且つ當時善鄰譯書館に關係ありたりと聞く、庶幾くは一言の榮を得むと、之を閱するに譯文流暢簡勁、尋常學者の能く及ぶ所にあらず、讀者之を坐右に備へなば、精神の修養に、作文の材料に裨益する所多かるべし、舉世洛々、思想惡化せんとする今日、此種の書の世に行はるゝは、余の最も喜ぶ所、因て一言を巻端に書す。

大正十年十二月

法學博士 戸水寛人

序

巨船凌怒濤。駛千里。縮坤輿萬國。化以爲比鄰。而推其所由。則不外於一點燧火。矣。大學有三綱八目。以平天下爲極致。而其大本歸于誠意一事矣。是故。聖人設教。最重存養省察。盈科而後進。天下之事。有不足爲者也。此篇所輯全科玉條。凡七百首。皆發於聖賢實踐躬行之餘。亘古今。通萬國。確其不可易也。方今世稱文明。格物窮理之學。駸々日進。制作之術。靈巧入神。而獨於修養之道。則闕焉。以故憤憤如是。豈可勝浩歎哉。往年。余從敬字中村先生而學。其塾刊行文學雜誌。每月兩次。卷端揭西諺數首。以爲例矣。余久當其編輯之任。推敲慘憺以譯之。積至數百首。今年八月。曝書。偶得其稿本矣。自謂。此大有補於世教者。豈可徒充蠹魚之腹。乃更加改竄。增補數百。以公於世矣。讀者玩索有得焉。則其功將有大於格物制作之末者云爾。

大正四年十二月

醒軒 吾妻兵治識

吾妻醒軒君行略

君諱勝升。通稱兵治。號醒軒。吾妻氏。考諱勝豐。妣齊藤氏。君其第二子也。嘉永六年七月二十七日。誕于秋田縣久保田茶町邸。甫五歲。從家嚴暨伯兄學。讀書過目不忘。九歲。從學伯父根本通明。又出學于藩學明德館。天資聰敏。事父母甚謹。夙有神童孝子之稱。外祖父齊藤勝文。時爲藩學明德館々長。深囑望。明治五年。入秋田縣共和塾。脩英學。七年九月。補秋田縣立太平學校英語教員及理化學助教員。八年三月。辭職。遊于東京。入同人社。兼脩漢英學。畢業。爲同社漢英學教員。兼掌文學雜誌編輯。十一年。應文部省。農商務省囑托。譯英語。十五年三月。補外務省御用掛。擔任公信局翻譯事務。十六年。兼本局秘書部員。掌機密文書。十八年四月。專任翻譯局事務。尋爲非職。二十三年八月。任陸軍教授。補奏任官。任五等。叙從七位。二十九年六月。依請免本官。三十一年十月。創設善鄰譯書館於東京市神田猿樂町。先是。君躬旣爲閑故。與都下諸名士習謀。欲漢譯本邦暨泰西諸書。輸入之禹域。開發其文化。以舉鄰邦輔

車唇齒之實。諮之於板垣伯及小村外務大臣。二氏大贊其舉。外務大臣特投機密資貳千圓助之。於是。君奮然携其自著國家學。重野安釋著大日本明治維新史等著書數萬部。入支那。留上海。首晤總統李鴻章。喻其志。鴻章大悅其舉。購著書若干部。勗其努力。當是時。彼邦政綱日弛。會有義和團匪之亂。所携書籍。率其爲所掠奪燒棄。縱以身免。轉到福州。遽罹疾。志業竟爲是頓挫。洵可惜也。君歸朝後。宿痾纏綿未瘥。加之債鬼日覲門。復不可如何。於是。移居郊外。安貧養病。大正六年七月。疾大漸。遂不起。享年六十有五。法諡曰醒軒院勝升日了居士。葬于東京市牛込區原町常泉寺塋域。配野口氏。生五男二女。長子敬勝嗣家。次子貞勝爲三井社員。三男秀勝天。四男毅爲中央大學々生。五男栗爲海城中學々生。長女敏子旣嫁。次女斐子居家。君爲人博聞強記。通經巧文又能英語。然資性恬澹。不與物競。故雖一旦眞身外務樞要之地。不能久焉。雖欲雄飛鄰邦禹域。中途蹉跌。輒軻不遇以終。悲夫。頃者。息貞勝携君所著英漢對譯格言集來。示予。泣曰。吾先人先歿三日。呼貞勝枕邊曰。係禹域志業。今不忍言。願我先師根本中村二先生。無大著述。吾平生所期望者。欲漢譯大英百科大辭典。

公。之。世。以。聊。酬。先。師。之。德。不。果。是。爲。恨。耳。今。此。書。雖。不。當。其。宿。志。萬。一。姑。刊。之。欲。以。慰。先。考。之。靈。請。先。生。爲。之。行。略。得。眞。之。卷。端。嗟。乎。予。與。君。有。舊。誼。且。君。至。孝。出。于。天。性。觀。其。嘗。所。自。筆。先。妣。齊。藤。太。孺。人。行。狀。悉。之。今。也。其。子。亦。繼。遺。志。有。此。美。舉。焉。得。不。欣。然。叙。述。焉。乎。大。正。十。年。十。二。月。念。日。鹿。川。老。漁。宮。內。默。藏。謹。狀。

改訂増補再版序

人生を制する者は運なり、人智にあらず、とシセロは言へり、抑も人の斯世に生を稟くるや、生涯の浮沈興廢、果して宿命論者の稱ふる如く、豫定せられたる必至のものなりや、吾未だ信する能はざるなり。

吾人は血氣の青年なり、常に自ら謂ふ、人生は猶ほ角技の如し、力弱き者は敗れ、力強き者は勝つ、何ぞ運不運と云ふを須るんやと、然れども、吾が思ひ一たび、亡き父のことに及ぶときは、忽ち平素の信念を破りて、宿命論を叫ばんとす。

亡き父の生涯は、徹頭徹尾、正義の敗衄の衰史なりき、幼にして神童孝子の譽あり、性度開廓、學、和漢洋を兼ね、父を知る者、景慕せざるはあらざりき、退官後、國家的事業の爲に奔走して、屢危地に入る、而も事成らずして、一豎の侵す所となり、轆轤不遇の生涯を以て終る、子たる者、如何で萬斛の涙を賤かざるを得むや。

本書増補の稿(英漢對譯)は父病中の手に成れり、豚兒等之を録し、別に和譯を添え、其口授

INDEX

目次

1. REASON. 理義門	1
2. MORAL PRINCIPLE. 人倫門	27
3. MORAL CULTURE. 修身門	35
4. HOUSE-HOLD MANAGEMENT. 齊家門	71
5. EDUCATION. 教育門	75
6. RELIGION. 宗教門	79
7. SCIENCE AND ART. 學藝門	83
8. WISDOM. 智愚門	91
9. COURAGE. 勇武門	111
10. SANITATION. 攝養門	121
11. HUMAN INTERCOURSE. 交際門	165
12. BUSINESS MANAGEMENT. 處事門	165
13. SOCIAL LIVING. 度世門	203
14. ECONOMIC MANAGEMENT. 理財門	233
15. AGRICULTURE, INDUSTRY AND TRADE. 農工商門	245
16. LAW AND POLITICS. 法政門	257
17. MISCELLANEOUS. 雜門	267

附録 醒軒遺文摘録

序

に基き、理義、人倫、修身、以下拾遺篇に分ちて以て世に公にす、幸に讀者を裨益する所
あらば、亡き父の靈、泉下に瞑すべし。

大正十年十二月

編者

男

吾妻敬勝

同 貞勝

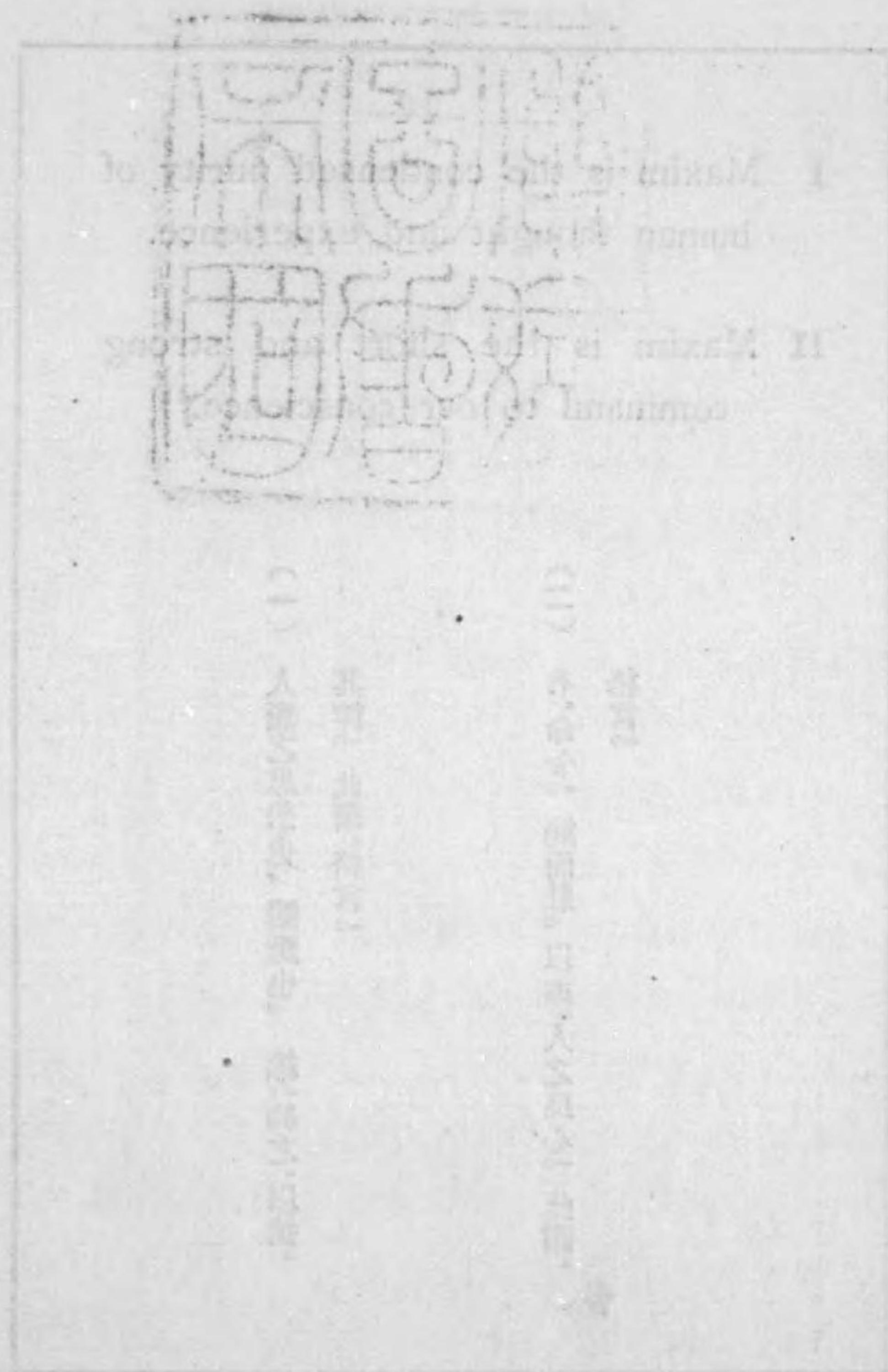
本書刊行に付、格言全部の校訂は、醫學博士河西健二氏其勞を執られ、附録、醒軒遺文摘録、及
び行略の執筆は、國學院大學講師宮内黙藏氏其任に當られたり、其他種々御盡力を辱うしたる、法
學博士戸水寛人氏、法學士京野東三郎氏、黒川善一氏、醫學博士吾妻勝剛氏、並に御在世中、多大
の御厚情を以て、本書の校訂より上梓方に至るまで御引受下されし故法學博士利田垣謙三氏の靈に
對し、茲に謹みて感謝の意を表す。



理

義

門



I Nothing flourishes for ever.

II Wine in, wit out.

III Honesty is the best policy.

IV Still waters are usually the deepest.

V Glory follows virtue.

-◆.....
- (一) 天下未嘗有隆盛無窮者。
天下未だ嘗て隆盛無窮なるものあらず。
 - (二) 酒入智出。
酒入れば理智去る。
 - (三) 唯公正。是謂得策。
唯だ公正是れを得策と謂ふ。
 - (四) 深淵之水。常湛靜。
深淵の水は常に湛靜なり。
 - (五) 光榮隨德。
光榮は徳に隨ふ。

I All pleasures are transient.

II Pleasure fascinates our senses.

III Ill gotten goods prosper not long.

IV Report is worse than reality.

V Nothing is great unless it be good.

-◆.....
- (一) 娛樂皆如流星。
娛樂は皆流星の如し。
 - (二) 娛樂蕩人之五感。
娛樂は人の五感を蕩す。
 - (三) 悖入之物。利用不長久。
不義に得たる品は利用久しからず。
 - (四) 風聞惡於事實。
風聞は事實よりも惡し。
 - (五) 天下未嘗有不善而能大者。
天下未だ不善にして能く大なるものあらず。

- I Great beauty and great chastity often disagree.
- II He is not dead, whose fame survives.
- III Glory accompanies virtue, as it were its very shadow.
- IV Virtue is the only nobility.
- V Virtue increases under oppression.

(五) 徳遇^ハ横虐^ニ彌加^ス。
徳横虐に遇へば彌々加はる。

(四) 唯徳^ヲ獨尊^ス。
世に徳ほど尊きものなし。

(三) 榮之隨^レ徳^ニ。如^シ影之於^レ形^ニ。
光榮の徳に隨ふは影の形に於けるが如し。

(二) 名聲^ヲ長存^ス矣。則^チ其人^ハ不^レ死^ス也。
名聲永久なれば則ち其人は死せざるなり。

(一) 大美^ト與^ニ大貞^ト。往々^ハ不^レ並立^ス。
大なる美と大なる操とは往々並び立たず。

- I He is not alone, whom God favours.
- II Caution is the best keeper of a castle.
- III Time appeases hatred.
- IV Time assuage grief.
- V God loves man is better than man loves himself.

(五) 神之愛^レ人^ヲ。過^ク於^テ人之自愛^ニ。
神が人を愛するは人自ら其身を愛するより大なり。

(四) 歲月^ハ以^テ減^ス悲哀^ノ念^ヲ。
歲月は悲哀の念を減す。

(三) 歲月^ハ憎惡^ノ念^ヲを緩^ムにす。
歲月は憎惡の念を緩にす。

(二) 傲戒^ハ。是^レ守^ル城^ノ之^ノ至計^{ナリ}。
用心は城を守るの最良策なり。

(一) 得^ニ天之惠^ヲ者^ハ不^レ孤立^ス。
神の恵を得たる者は孤立せず。

- I No man is born without faults.
- II What is done in the night appears in the day.
- III Magnanimity and courage are inseparable.
- IV No rose without a thorn.
- V Merit will surely meet with a reward.

-◆.....
- (一) 人生而無過者。未之有。
 - 生れて以來過ちなき人はあらず。
 - (二) 暗夜所行之事。必顯于白晝。
 - 暗夜の行爲は必ず白晝に顯る。
 - (三) 豁達與勇敢。不可別離。
 - 豁達と勇敢とは別離すべからず。
 - (四) 世無無刺之薔薇。
 - 世に刺のなき薔薇なし。
 - (五) 功必受其賞。
 - 功あれば必ず賞を受く。

- I He who has no shame, has no conscience.
- II God helps those who help themselves.
- III Wisdom is happiness. 是は事自加の如海
- IV Short pleasures, long lament.
- V The glory of a good man is a good conscience.

-◆.....
- (一) 不知恥者。無良心。
 - 恥を知らざる者は良心なし。
 - (二) 神助自助者。
 - 天は自ら助くる者を助く。
 - (三) 才智者。福也。
 - 才智ある者は幸なり。
 - (四) 歡娛之時短。悲歎之日長。
 - 快樂は短く憂目は長し。
 - (五) 善人之榮。在其良心。
 - 善人の榮は其良心に在り。

- I He who has a wife and children has given hostages to fortune.
- II He that trusteth in his riches shall fall.
- III When pride comes, then comes shame.
- IV It is sport to a fool to do mischief.
- V Help yourself, and God will help you.

-◇.....
- (一) 有_二妻子_一者。不_レ能_レ制_二命_一運_二。
 - 妻子ある者は運命を制する能はず。
 - (二) 自_レ任_二其_レ富_一者。癡_レ矣_一。
 - 己れの富を頼る者は零落す。
 - (三) 傲慢_レ速_レ辱_一。
 - 傲慢なれば恥辱来る。
 - (四) 愚_レ者行_ニ不_レ善_一以_テ自_レ悦_一。
 - 愚者は不善を行ひて自ら悦ぶ、
 - (五) 人_レ自_レ助_一而_レ後_レ天_レ助_一之_一。
 - 人自ら助けて後天之を助く。

- I Precepts may lead, but example draw.
- II Praise is the hire of virtue.
- III Power discovers the real disposition of a man.
- IV He that smiles in prosperity will be sure to shrink.
- V When the poor is contented, he is happy; when the rich is discontented he will have grief.

-◇.....
- (一) 格言_ハ可_レ以_テ導_レ人_一。善行_ハ可_レ以_テ感_レ人_一。
 - 格言は人を善に導き善行は人を感動すべし。
 - (二) 讚美_ハ是_レ徳行_一之_レ報酬_一。
 - 讚美は是れ徳行の報酬なり。
 - (三) 權勢_ハ露_レ呈_レ人_一之_レ肺肝_一。
 - 權勢は其人の性格を露はす。
 - (四) 笑_ニ樂_一乎_レ順境_一者。必_ス淪_レ没_一。
 - 順境に笑ひ興する者は必ず没落す。
 - (五) 知_レ足_レ貧_一亦_レ樂_一。不_レ知_レ足_レ富_一亦_レ悲_一。
 - 足るを知れば貧も亦樂む、足るを知らざれば富も亦悲む。

- I Truth is the basis of all excellence.
- II Before destruction, the heart of man is haughty ; and before honour is humility.
- III Nothing is more beautiful than truth.
- IV Mental Pleasures never cloy.
- V The path of duty is always the path of safety.

- (一) 眞理者。凡百絶妙之基礎。
總て絶妙の基礎は眞理なり。
- (二) 辱隨驕泰。榮隨謙遜。
傲慢なれば恥辱を受け、謙遜なれば光榮を得べし。
- (三) 天下無有下美於眞理者。
天下に眞理より美なるものなし。
- (四) 心樂絶不飽。
心の樂みは決して飽かず。
- (五) 本分之路。常安全之路也。
本分の路は常に安全の路なり。

- I Gold can not purchase a good conscience.
- II Adversity will not last forever.
- III Power ought to follow, not precede justice.
- IV Decay belongs to every thing.
- V Trifles lead to serious matters.

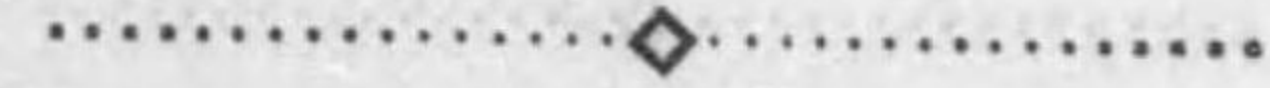
- (一) 黄金不能買良心。
黄金も良心を購ふ能はず。
- (二) 禍災不長存。
禍災は長へに存せず。
- (三) 力要隨正義。不得先之。
力は正義に隨ふを要す、之に先だつを得ず。
- (四) 衰滅。是萬物之歸也。
衰滅は是れ萬物の歸なり。
- (五) 細故劇致大事。
些細の事より大事件となる。

- I It is honourable to die for our country.
- II Every thing great is not always good.
- III No man is wise or safe but he that is honest.
- IV All things are good with good men.
- V Every man carries an enemy in his own bosom.



- (一) 爲^ニ國^ヲ殺^ス身^ハ是^レ光^ニ榮^ス。
國家の爲めに死するは名譽なり。
- (二) 凡^ソ事^ト物^ノ之^ノ大^{ナル}者^ハ。未^レ必^ズ皆^ク善^ニ。
凡そ事物の大なる者必ずしも善ならず。
- (三) 正^シ直^{ナル}之^ノ人^ハ以^テ外^ニ。無^ク智^ク者^{ナリ}。又^モ無^ク寧^マ者^{ナリ}。
正直の人以外智者なく寧者なし。
- (四) 萬^ノ事^ハ得^テ善^ニ人^ト。而^{シテ}爲^ル善^ト矣^{ナリ}。
何事も善人が爲せば善となる。
- (五) 人^ノ之^ノ胸^ノ裏^ニ。皆^ク持^テ一^ノ敵^{ナリ}。
人は皆其胸裏に一敵あり。

- I The spirit of truth dwelleth in meekness.
- II Fortune is fickle in her favour!
- III Time is the best judge of all things.
- IV The sweetest pleasures are soonest gone.
- V Truth needs no embellishment.



- (一) 眞^ノ理^ノ之^ノ精^神。住^ミ于^テ温^和之^ノ人^ト。
眞理の精神は温和なる人の心に住む。
- (二) 運^命之^ノ去^リ就^ル無^レ常^{ナリ}。
運命の去就常なし。
- (三) 時^ハ至^ル。則^チ萬^ノ事^ハ善^ニ惡^ニ決^ス矣^{ナリ}。
時至れば萬事善惡決す。
- (四) 歡^樂之^ノ極^{ナル}佳^{ナル}者^ハ。其^ノ終^ハ極^ニ速^{ナリ}。
大なる歡樂は速かに終る。
- (五) 眞^ノ理^ハ不^レ要^ス裝^飾。
眞理は裝飾を要せず。

- I Between right and wrong never balance a moment.
- II He that does good shall find good, he that does evil shall find evil.
- III Where there's no might there's no right.
- IV Where there is no good within, no good comes out.
- V Though good be good, better is better.



- (一) 正邪不造次並立。
正と邪とは瞬時も並び立たず。
- (二) 行善可^{ハハ}以^テ遇^フ福^ニ。行^{ハハ}惡^ク可^ク以^テ遭^フ禍^ニ。
善を行へば福を得、悪を行へば禍を受く。
- (三) 無^ニ實力^ニ無^ニ正義^ニ。
實力なければ正義なし。
- (四) 善不^レ藏^ニ于^ニ内^ニ。則^チ不^レ形^ニ于^ニ外^ニ。
善内に藏せざれば外に形はれず。
- (五) 善則善矣。又有^ニ更善者^ニ。
善は善なれども又更に善なるものあり。
(善にも大小あり)

- I He is above his enemies that despises their injuries.
- II If you have no enemies it is a sign fortune has forgot you.
- III Man love to praise right and do wrong.
- IV Where force prevails right perishes.
- V Right overstrained turns to wrong.



- (一) 藐^シ視^ス仇^ノ之^ノ迫^ル害^ニ。是^レ仇^ノ以上^ノ之^ノ人^{ナリ}。
敵の迫害を意に介せざるは敵以上の人物なり。
- (二) 素無^ニ仇敵^ニ。天運棄^テ其^ノ人^ノ之^ノ兆^也也。
人若し仇敵を有せざれば即ち天運其人の棄てたるの兆なり。
- (三) 人好^ク稱^ス善^ヲ。而^{シテ}躬^ニ爲^ス惡^ヲ。
人好んで善を稱し自身は悪を爲す。
- (四) 力勝^テ則^チ正理^ニ死^ス矣。
力勝てば正理死す。
- (五) 正過^レ則^チ變^テ而^{シテ}爲^ス邪^ト。
正義も過れば却て不義となる。

I He who falls to-day may rise to-morrow.

II What is wrong to-day won't be right to-morrow.

III What is my turn to-day, may be thine to-morrow.

IV What one loses to-day one may gain to-morrow.

V By the side of sickness health becomes sweet.

-◇.....
- (一) 有^レ人今日倒^了。或明日起^得。
 - 今日倒るるも或は明日起つを得ん。
 - (二) 今日爲^レ邪者。明日不^レ爲^レ正。
 - 今日不正なる事明日正となる理なし。
 - (三) 今日爲^ニ吾利^一者。明日或汝之利。
 - 今日吾が利たるも明日或は汝の利たらん。
 - (四) 今日失^レ之。明日或得^レ之。
 - 今日の損失するも明日或は利を得ん。
 - (五) 在^ニ病者之傍^一知^ニ健在^一之味。
 - 病人の傍に在りて建康の味を知る。

I The dainties of the great are the tears of the poor.

II The pleasures of the mighty are the terrors of the poor.

III When money speaks, truth keeps silent.

IV One handful of money is stronger than two handful of truth.

V To-day is yesterday's pupil.

-◇.....
- (一) 富貴之珍珠。是貧民之淚。
 - 富人の珍珠は貧民の涙なり。
 - (二) 權勢之所^レ樂。貧弱之所^レ怖。
 - 王公の樂む所は貧民の怖るる所なり。
 - (三) 錢談^{スレバ}則^チ理默^ス。
 - 錢談すれば理默す。
 - (四) 錢之一握。強^ニ於^レ理之二握^一。
 - 錢の一握は理の二握よりも強し。
 - (五) 今日^は昨日^の弟子^{なり}。
 - 今日は昨日の弟子なり。

- I In dry land even brackish water is good.
- II The water that bears the boat is the same that swallows it up.
- III Shallow waters make most din.
- IV Smooth waters run deep.
- V Where water has been, water will come again.

-◇.....
- (一) 在_レ乾_ニ土_ハ鹹_ニ水_モ亦_ハ佳_{ナリ}。
乾土にありては鹹水も亦佳なり。
 - (二) 水_ハ能_ク浮_レ舟_又能_ク沈_レ舟_也。
水は能く舟を浮べ又能く舟を沈む。
 - (三) 淺_ニ水_ハ尤_モ噪_シ。
淺き流れは噪し。
 - (四) 平_ニ水_ハ深_ニ流_ル。
静かなる流れは深し。
 - (五) 嘗_テ水_{アリ}し處_ヘは水_再び來_ル。
嘗て水ありし處へは水再び來る。

- I Your father's honor is to you but a second hand honor.
- II From a pure source pure water comes.
- III In still water the worms are worst.
- IV He who would have clear water must go to the fountain-head.
- V In still water are the largest fish.

-◇.....
- (一) 父_ノ名譽_於其_子直_ニ是_{陳腐}物_{ナリ}。
父の名譽は其子に取りては陳腐物なり。
 - (二) 清_ニ水_出レ從_ニ清_ニ源_ニ。
清水は清源より來る。
 - (三) 靜_ニ水_中有_ニ惡_ニ虫_ニ。
靜水中に惡虫住む。
 - (四) 欲_レ得_ニ清_ニ水_ヲ須_ク往_ニ源_ニ頭_ニ。
清水を得んと欲せば水源に行かざるべからず。
 - (五) 湛_ニ水_ハ大_ニ魚_住む。
湛水には大魚住む。

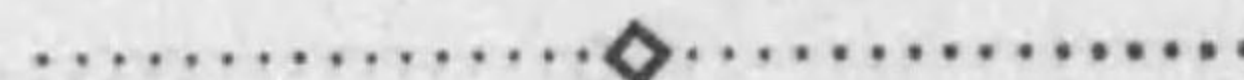
- I Birds of prey do not flock together.
- II Birds of prey do not sing.
- III The bird feels not its wing heavy.
- IV The bird once out of hand is hard to recover.
- V A horse is neither better nor worse for his trappings.

-◇.....
- (一) 肉食之鳥不_レ相群。
 - ✓ 肉食の鳥は相群せず。
 - (二) 肉食之鳥不_レ啼。
 - 肉食の鳥は啼かず。
 - ✓ (三) 鳥不_レ知_二其翼之重_一。
 - 鳥は其翼の重きを感じず。
 - (四) 逸鳥難_レ回收。
 - 一たび遁けたる鳥は再び捕へ難し。
 - (五) 馬不_レ由_二装具_一以_レ變_二其質_一。
 - 馬具の良否は馬の良否に關係なし。

- I A small fire that warms you is better than a large one that burns you,
- II Fire and water are good servants but bad masters.
- III In the looking-glass we see the form, in wine the heart.
- IV A bird is known by its note, and a man by his talk.
- V According to his opinions the bird flies.

-◇.....
- (一) 温火取_レ暖_ニ愈_ニ於_レ猛火_一焚_レ身。
 - 温火にて暖を取るは猛火にて其身を焼く
に愈る。
 - (二) 水火是良僕_ニ而虐主_{ナリ}。
 - 水と火は良僕にして虐主なり。
 - (三) 鏡以_レ觀_レ貌_ニ酒以_レ觀_レ心_ニ。
 - 鏡は姿を見せ酒は心を示す。
 - (四) 音以_レ知_レ鳥_ニ談以_レ知_レ人_ニ。
 - 其聲によりて鳥の良否を知り、其談話に
よりて人の賢愚を知る。
 - (五) 鳥有_レ意_ニ而飛_ニ。
 - 鳥の飛ぶにも各意見あり。

- I He who conceals an useful truth is equally guilty with the propagator of the injurious falsehood.
- II People praise truth, but invite lying to be their guest.
- III Truth gives a short answer; lies go round about.
- IV Sooner or later the truth comes to light.
- V Truth may be blamed but shall never be shamed.



- (一) 隠^レ至要之理^ニ而^レ不^レ語。或布^ニ有害之虚説^ニ其罪一也。
- 至要の理を隠して語らざる者は有害なる虚説を傳播する者と其罪相等し。
- (二) 人貴^ニ事理^ニ而^レ迎^ニ諂^ニ諛^ニ談^ニ人皆眞實を貴ぶも其實却て虚言を歓迎す。
- (三) 實之答短詐之答迂廻。
- 眞實の答は短く虚偽の答は迂廻す。
- (四) 眞理終可^ニ親得^ニ。
- 眞理は早晚人に知らる。
- (五) 眞理可^ニ以^テ議^ス之^ヲ不^レ可^ニ以^テ辱^ス之^ヲ。
- 眞理は時に非難さるゝことなるも決して辱めらるゝことなし。

- I No horse is so good but that he will at times stumble.
- II One mangy sheep spoils a whole flock.
- III When the wolf grows old the crows ride him.
- IV Even hares pull a lion by the beard when he is dead.
- V There is nothing so well done but may be mended.



- (一) 未^ダ嘗^テ一^ト躓^キ天下無^ク斯^ノ良馬。
- 良馬も時に躓くことあり。
- (二) 一^ト羊^ノ羶^レ疥^ヲ害^ス及^テ全^ク群^ヲ。
- 一羊疥に罹れば害全群に及ぶ。
- (三) 老^シ狼^ノ之^ノ背^ヲ鳥^ノ騎^レ之^ヲ。
- 狼も老ゆれば鳥其背に乗る。
- (四) 死^シ獅^ノ之^ノ鬚^ヲ兔^ノ猶^引之^ヲ。
- 獅子も死すれば兔の爲に其鬚を引かる。
- (五) 世^ニ無^ク有^ラ完^レ備^ニ不^レ要^ス修^ス正^ス者^ナ。
- 世に修正を要せざる程完全のものなし。

- I Heaven never helps the man who will not act.
- II Heaven protects the just.
- III All things proclaim the existence of a God.
- IV Heaven would often be unjust if it answered our prayers.
- V God does not smite with both hand.

- (一) 天不_レ助_テ不_レ自_レ勞_テ者_ト。
天は敢て自ら勞せざる者を助けず。
- (二) 天護_ニ正_シ者_ヲ。
天は正しき者を護る。
- (三) 森羅萬象_ハ以_テ上_ニ帝_ノ存在_ヲ示_ス。
森羅萬象は以て上帝の存在を示す。
- (四) 天若_シ應_ニ禱_ム者_ノ請_ヲ則_チ將_ニ屢_ニ行_ハ不_レ義_ト。
天若し禱る者の請を容れんには屢々不義
を行はざるを得ず。
- (五) 天不_レ舉_テ雙_ニ手_ヲ以_テ打_テ人_ヲ。
天は雙手を舉げて人を打たず。

- I Truth may languish but can never perish.
- II Falsehood like a nettle stings those who meddle with it.
- III Lying is the first step to the gallows.
- IV Show me a liar and I'll show you a thief.
- V If things look badly to-day, they may look better to-morrow.

- (一) 真理有_レ時_ニ衰_ム而_シ斷_レ不_レ滅_ス。
真理は時に消長することあるも決して消滅せず。
- (二) 虛言如_シ葶_ノ藶_ノ刺_ス其_ノ觸_ル者_ヲ。
虛言は葶藶の如し、其觸るゝ者を刺す。
- (三) 虛言登_ル絞_首臺_ニ之_ノ第一_ノ步_ト。
虛言は絞首臺に登るの第一歩。
- (四) 朝是_レ虛_ノ人_ト夕_ニ是_レ盜_ト。
虚言者は盗人の始まり。
- (五) 有_レ事_ト今日_ニ不_レ可_レ得_ル是_ト明日_ニ或_シ是_ト。
今日不都合なることも明日或は好都合となることあり。

MORAL PRINCIPLE

人

倫

門

理 義 門

- I A smooth sea never made a skilful mariner.
- II Poverty never yet made a tyrant.
- III Content is the true philosopher's stone.
- IV Truth refines, but does not obscure.
- V Honour and Shame from no condition rise.

.....◆.....
(一) 靜海之濱。不出巧航之人。

波靜かなる海濱より航海の達人出でず。

(二) 貧乏未嘗生暴君。

貧乏未だ嘗て暴君を生まず。

(三) 安分者。眞正學士之礎。

分に安んずるは眞正學士の礎なり。

(四) 眞理自革新。然不韜晦。

眞理は自ら革新す、然れども韜晦せず。

(五) 榮辱不無故而起。

榮辱は故なくして起らず。

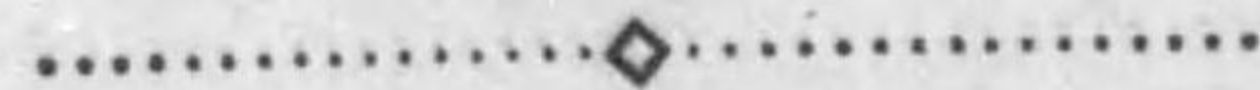
- I She who marries secretly is defamed openly.
- II I will be thy friend but not thy vices friend.
- III We should behave toward our friend.
- IV He that returns good for evil obtains the victory.
- V Good for good is natural, good for evil is manly.

- (一) 婦之私婚有公辱。
私婚せる女は公に辱めらる。
- (二) 吾爲汝之友也。非爲汝之邪惡之友。
吾れ汝の友たらん然れども汝の惡事の友
となる能はず。
- (三) 欲友之施於我。須以此施於友。
自己の欲する所を其友に施せ。
- (四) 以德報怨者勝。
德を以て怨に報ゆる者は勝つ。
- (五) 德以報德性也。德以報怨俠也。
德を以て德に報ゆるは性なり。德を以て
怨に報ゆるは俠なり。

- I Pay respect to your elders.
- II A virtuous woman is crown to her husband.
- III A wise son heareth his father's instruction.
- IV No man can find that real happiness except in the bosom of his family.
- V A kind wife makes a faithful husband.

- (一) 須敬汝之兄姉。
汝の兄姉を敬へ。
- (二) 婦之有德。是夫之榮。
妻の德あるは其夫の名譽なり。
- (三) 賢子聽父訓。
賢き子は父の教訓を聽く。
- (四) 一家團樂以外。孰復見其眞福。
一家團樂以外眞の幸福なし。
- (五) 婦懇篤則其夫有信義。
妻懇篤なれば其夫眞實あり。

- I Withhold not the wages of the poor.
- II Look on the poor with gentle eyes, for in such habits often angels desire alms.
- III When you eat think of the poor.
- IV He who has published an injurious book sins in his very grave corrupts others while he is rotting himself.



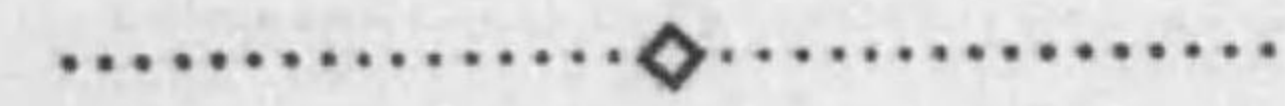
(一) 貧人之勞銀。勿留滯。
 貧人の勞銀を滯らす勿れ。

(二) 須温眼以遇貧人。天使間貧裝而乞食。
 温眼にて貧人を見よ、天使は貧人を裝ひて食を乞ふことあり。

(三) 食時當想起貧人。
 食する時に貧人を想へ。

(四) 刊行有害之書者。死後尙播毒。其身朽於墓下。而兼朽世人。
 有害の書物を刊行したる者は死後尙ほ罪を犯す、何となれば其身墓下に朽ち兼ねて世道人心を腐敗せしむればなり。

- I No wrong without remedy.
- II There is no man so bad but has a secret respect for good.
- III Better be poor than wicked.
- IV Better poor with honour than rich with shame.
- V Be considerate to-ward the poor.



(一) 天下無有不可救藥之過惡。世に療治の出來ざる過惡なし。

(二) 惡則惡然亦有與善相涉者。
 天下無有若人。
 惡人と雖も善の良きことを知る。

(三) 與爲惡人也。寧爲貧民。
 惡人たるより貧民たるに如かず。

(四) 富而可羞。不如貧而有譽。
 富みて耻あるよりは貧くして譽あるに若かず。

(五) 宜願慮于貧人。
 宜しく貧人に思ひ及ぼすべし。

- I If you love yourself over much, nobody else will love you at all.
- II Love all, trust a few, be false to none.
- III Fortune is the companion of virtue.
- IV He is truly happy, who makes others happy.
- V A good servant makes a good master.



- (一) 汝自愛太甚。則舉世不愛汝。
人若し自己を愛する甚しきに過れば決して他人に愛せられず。
- (二) 須愛萬人。信二三之友。不欺人。
總ての人を愛し、少數の人を信じ、人を欺かず。
- (三) 好運是有徳之侶。
有徳者は好運を得べし。
- (四) 使一人得幸福者。眞福也。
他人に幸福を得せしむる者は眞に幸福なり。
- (五) 良臣造良君。
臣臣たるの道を盡せば君君たるの道を盡すに至らん。

- I Never ride a free horse to death.
- II Do as you would be done by.
- III Better a red face than a black heart.
- IV Better deny at once than promise long.
- V Better a friendly denial than unwilling compliance.



- (一) 逸馬尙不騎殺得。
無主の馬でも乗殺すな。
- (二) 欲人之施於我。移以施諸人。
己の欲する所を人に施せ。
- (三) 赤面愈於黒心。
腹の黒きよりは顔の赤きに如かず。
- (四) 既約而遷延。不如即時拒絶。
諾して遷延するよりは寧ろ當初に拒絶せよ。
- (五) 枉許不如懇拒。
不本意の承諾を與へんよりは寧ろ穩に拒絶せよ。

MORAL CULTURE

修

身

門

人倫門

- I What you would not have done to yourselves never do unto others.
- II The love of father is the foundation of all the virtue.
- III He is rich enough who has true friend.
- IV To your son give a good name and a tread.
- V He who abandon his poor kindred, God forsakes him.

(一) 不_レ欲_セ人_ノ加_フ諸_レ我_{。我亦不_レ敢_テ加_フ諸_レ人_。}

己の欲せざる所を人に施す勿れ。

(二) 愛_{スルハ}父母_ヲ百徳之本也。

父母を愛するは百徳の本なり。

(三) 多有_ク眞友_ハ是富之至也。

多く眞友を有するは富の至なり。

(四) 生_マ子_ハ當_リ予_レ之_ニ以_テ良名_ト與_フ商業_。

其子に良き名と業とを與へよ。

(五) 棄_レ其_ノ骨肉_ノ之_ノ親_ヲ神_乃棄_テ其_ノ人_。

其貧しき血屬を棄る者は神に棄らる。

- I Of all studies, study your present condition
- II Ill customs grow apace.
- III Let your life be blameless.
- IV Tongues must not run before the mind.
- V That which was not honest could not be truly useful.



- (一) 就^{キテ}凡^ノ百^ノ學^ヲ習^フ。先^ニ學^ニ現^在境^遇。
- 學^ぶべ^きこ^と多^きも先^づ現^在の境^遇を學^ぶ。
- (二) 惡^習速^ニ生^育ス。
- 惡^習は速^ニに生^育ス。
- (三) 使^テ汝^ノ身^世無^ク可^レ議^ス。
- 一^生非^難さ^れず^ニ暮^せ。
- (四) 勿^レ使^シ舌^先心^而馳^セ。
- 舌^をして心^に先^んじて馳^せしむ^る勿^れ。
- (五) 事^不出^テ於^テ正^者。不^レ爲^ニ實^用。
- 事^正し^きに^出で^さる^もの^は實^用を^爲さ^ず。

- I Indulge not desire at the expense of virtue.
- II It is better to do well than to say well.
- III Let your tongue not cut your throat.
- IV Never sound a trumpet of your own fame.
- V Nothing overcomes passion more than silence.



- (一) 勿^レ損^テ德^以縱^テ欲^ヲ。
- 德^義を^敗り^て欲^を縱^にす^る勿^れ。
- (二) 善^ク爲^レ之^{。愈}於^テ善^言之[。]
- 善^く之^を爲^すは善^く之^を言^ふに^愈る。
- (三) 勿^レ使^シ舌^斷喉^ヲ。
- 舌^をして喉^を斷^たしむ^る勿^れ。
- (四) 勿^レ自^鳴自^己之^聲譽^ヲ。
- 自^ら自^己の^名譽^を鳴^らし立^つる^な。
- (五) 克^ク情^欲莫^ク善^ク於^テ沈^默。
- 情^欲に^克つ^は沈^黙より^善きは^なし。

- I Let your honour be without a stain.
- II Avarice blinds our eyes.
- III Salicitude destroys the mind, and profits nothing.
- IV Seek nothing beyond your aphere.
- V Hear much, but say little.

-◆.....
- (一) 使_レ汝_ノ之_レ面目_ヲ無_ク些_シ汚_レ點_ト。
汝の面目をして些の汚點なからしめよ。
 - (二) 貧_ノ婪_ノ之_レ念_ヲ使_レ人_ノ目_ヲ盲_ト。
貧婪の念は人目を盲にす。
 - (三) 苦_レ慮_ヲ壞_レ人_ノ心_ヲ而_{シテ}無_ク一_ノ毫_ノ之_レ益_ト。
苦慮は人心を壞るのみにて何の益もなし。
 - (四) 分_外不_レ冀_ハ一_ノ毫_ト。
分外の物を一毫も求めず。
 - (五) 多_ク聞_ク而_{シテ}少_ク語_ル。
多く聞きて少く語るべし。

- I A guilty conscience needs no accuser.
- II A little neglect may breed a great mischief.
- III Desire not that which is another's.
- IV The man is wise, who speaks little.
- V Fear not while acting justly.

-◆.....
- (一) 良_シ心_ヲ認_ム吾_ノ罪_ヲ不_レ要_ス人_ノ之_レ告_ス訴_ト。
良心吾が罪を認む、他人の告訴を要せず。
 - (二) 小_シ意_ヲ可_ク以_テ養_フ成_ス大_ノ禍_ト。
些細の怠慢より大禍と成ることあり。
 - (三) 勿_レ冀_ハ人_ノ之_レ物_ト。
他人の物を冀ふ勿れ。
 - (四) 寡_シ言_ノ之_レ人_ノ賢_ト也_ト。
寡言の人は賢なり。
 - (五) 行_フ正_シ事_ト時_ニ勿_レ畏_ル懼_ト。
正しき事を行ふとき畏怖する勿れ。

- I Transient pleasures are often the source of grief.
- II Temperance is the strength of the soul.
- III Be not overjoyed at any thing.
- IV Prudence is the conductor of all virtues.
- V Be brave, not ferocious.

-◆.....
- (一) 一時之樂。往々爲憂患之源。
 - 一時之樂は往々苦悶の種となる。
 - (二) 節制。以見其精神之強。
 - 節制は以て其精神の強きを見る。
 - (三) 勿レ溢ニ喜於事。
 - 何事にも喜び過ぎるな。
 - (四) 戒慎。是衆德之輻。
 - 戒慎は百德の指導者なり。
 - (五) 可ニ膽大。不レ可ニ猛烈。
 - 大膽なるは善し、然れども猛烈は不可なり。

- I Silence is often preferable to speech.
- II Moderate your curiosity.
- III Moderate your pleasures.
- IV Rashness is dangerous.
- V Avoid what you see amiss in others.

-◆.....
- (一) 擇ニ語與ニ默。屢取ニ後者。
 - 語るか黙するかの場合には黙するに極めよ。
 - (二) 須レ節ニ汝之好奇心。
 - 汝の好奇心を節すべし。
 - (三) 須レ節ニ汝之娛樂。
 - 汝の娛樂を節すべし。
 - (四) 輕率危矣。
 - 輕率は危し。
 - (五) 見ニ人之過。謹避レ之。
 - 人の過ちを見て謹で之を避けよ。

- I Passion should be cured by prudence.
- II Passion is ever the enemy of truth.
- III It were no virtue bear calamities, if we did not feel them.
- IV Content to the visible, discontent of the invisible.
- V Wise man lay up knowledge.

-◆.....
- (一) 情慾。須^ハ謹慎^ツ以^テ醫^フ之^ヲ。
情慾は謹慎を以て之を醫すべし。
 - (二) 情慾。常^ニ爲^ス眞理^ノ之^ノ敵^ト。
情慾は常に眞理の敵となる。
 - (三) 雖^レ堪^ル艱難^ニ。苟^モ無^ク所^ニ感發^ス。亦^モ不^レ足^レ稱^ス。
艱難に堪ゆるも發心する所なければ稱するに足らず。
 - (四) 可^レ知^ル足^ル於^テ形^ニ而下^ル者^ニ。不^レ可^レ知^ル足^ル於^テ形^ニ而上^ル者^ニ。
物質には満足すべし學理事理には満足するな。
 - (五) 賢者藏^ス其^ノ智^ヲ。
賢者は其智を藏す。

- I Shame springs from vanity.
- II Let discretion temper your desire.
- III Wisdom without justice is but craftiness.
- IV Courage ought to have eyes as well as arms.
- V Patience is the best remedy for grief.

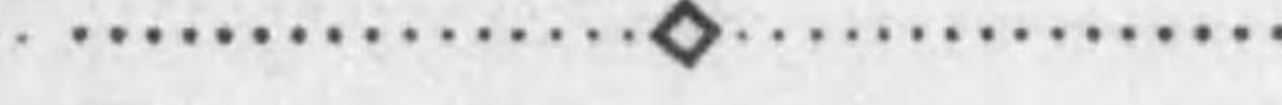
-◆.....
- (一) 耻辱起^ル於^テ浮虛^ニ。
耻辱は不眞面目より起る。
 - (二) 使^テ是^レ非^ノ之^ノ心^ヲ。節^セ汝^ノ之^ノ願欲^ヲ。
是非の心をして汝の欲念を節せしめよ。
 - (三) 有^ル智^ハ不^レ公^正。即^チ狡黠^ト耳^ヲ。
智ありて正しからざれば即ち狡黠のみ。
 - (四) 勇氣要^ス有^ル眼^ト與^テ手^ト。
勇氣は眼と手あるを要す。
 - (五) 醫^ス憂悶^ノ之^ノ心^ヲ。莫^ク善^ク於^テ忍耐^ニ。
憂悶の心を醫するは忍耐より善きはなし。

- I Ayarice increases with the increasing fill.
- II The more a man talks, the less he thinks.
- III Make your words agree with your thoughts.
- IV Consider each day your last.
- V To escape from vice is a virtue.



- (一) 物彌充^ト而欲彌加^ト。
貧婪の人は物が増えれば増える程慾が募る。
- (二) 言彌多^ト而思慮彌少^ト。
多く語れば語る程思慮益々乏し。
- (三) 要^ト言語與^ト思想相符^ト。
言語と思想と相符合するを要す。
- (四) 須^ト毎日以爲^ト吾終^ト矣^ト。
毎日今日限りと思ふて働くべし。
- (五) 避^ト邪即善也^ト。
邪を避くるは即ち善なり。

- I A prating fool shall fall.
- II If rich, be not elated, if poor, be not dejected.
- III Do nothing you would wish to conceal.
- IV To rule one's anger is well, to prevent it is better.
- V Humility is attended with peace of mind.



- (一) 不肖者^ト。饒舌取^ト敗^ト。
愚者は多辨にて失敗す。
- (二) 富而不驕^ト。貧而不屈^ト。
富みて驕らず貧くして屈せず。
- (三) 欲^ト匿^ト之^ト。不^ト如^ト不^ト爲^ト。
之を匿さんと欲せば爲さざるに如かず。
- (四) 治^ト怒氣^ト則善^ト。不^ト如^ト閉^ト之^ト之更善^ト。
猥りに怒らぬは善し全く怒らぬは猶更善し。
- (五) 謙遜^ト則其心穩靜^ト。
謙遜なれば其心穩かなり。

- I Fortune favours the bold.
- II Use your wits as a buckler, not as a sword
- III Applause is the end and aim of weak minds.
- IV The path of virtue is the path of peace.
- V Never lose your self-respect; if that be lost, all is lost.

-◆.....
- (一) 吉運者愛^ハ膽大之人^ニ。
幸運は大膽なる人を愛す。
 - (二) 汝用^キ其智^ヲ宜^ク如^ク盾^ノ。不^レ宜^ク如^ク劍^ノ。
汝其智を盾の如くに用ひよ、劍の如くにすべからず。
 - (三) 心之軟弱者^ハ其所期^{スル}專在^{スル}得^ル譽^ヲ。
心の弱き者は唯譽めらるゝことを目的とする。
 - (四) 徳行之路^ハ是和平之路^{ナリ}。
徳行の路は平和の道なり。
 - (五) 勿^レ失^フ汝之自重心^ニ。苟失^フ之^ハ則^チ萬事休焉^{ナリ}。
汝の自重心を失ふ勿れ苟も之れを失へば萬事休す。

- ◆ I We should never be angry at trifles.
- II Restraint from ill is the best kind of freedom.
- III Self-preservation is the first law of nature.
- IV Self-denial is the most exalted pleasure.
- V Be always at leisure to do good.

-◆.....
- (一) 吾人斷^ハ不^レ得^テ以^テ細故^ニ發^ス怒^ヲ。
吾人は決して些細の事に立腹すべからず。
 - (二) 自檢束^シ以^テ遠^ク不^善。是謂^フ最好自由^{ナリ}。
不善に遠ざかるは自由の最も大なるものなり。
 - (三) 自保^シ持^ス其身^ヲ。是第一天則^{ナリ}。
自ら其身を保持するは第一の天則なり。
 - (四) 自却^シ其欲^ヲ。是快樂之最高尚者^也。
自制は快樂の最も高尚なるものなり。
 - (五) 宜^ク常^ニ有^テ暇^ニ于^テ行^フ善^ヲ。
常に善事を行ふの暇あるべし。

- I Self conceit is the attendant of ignorance.
- II Resist a temptation till you conquer it.
- III Cholerick men sin in haste, and repent at leisure.
- IV Concealing faults is but adding to them.
- V Confession of a faults makes half amend for it.

-◆.....
- (一) 自負者。無識之從者也。
自負は無知の從者なり。
 - (二) 與外誘爭。不勝不已。
誘惑に抵抗して打勝つまでやれ。
 - (三) 易怒者。失於匆卒。而悔於間居。
怒り易き人は匆卒に失して間居に悔ゆ。
 - (四) 蔽吾過。即重之也。
吾が過ちを蔽ふは即ち之を重ねるなり。
 - (五) 言明吾過。是半改之也。
吾が過ちを悔ゆるは半ば改めたるなり。

- I The sight of the mind is darkened by errors.
- II Do not practice what you blame in others.
- III To live quietly, one should be blind, deaf, and dumb.
- IV Prefer solid sense to wit.
- V Self deceit is the easiest of any.

-◆.....
- (一) 心之眼爲誤謬之所。掩而闇矣。
心の眼誤謬の掩ふ所と爲りて闇し。
 - (二) 勿傲答。
他人の罪過に傲ふ勿れ。
 - (三) 恬靜度。世要。身爲盲聾啞。
平穩に一生を送るには盲聾啞たるを要す。
 - (四) 機智。不若堅實之意志。
機智は堅實の意志に若かず。
 - (五) 悠々萬事。唯自欺爲最易。
吾が心を欺くは何事よりも容易なり。

- I Contentment is true wisdom.
- II Quench all immediate desires.
- III It is no small conquest to overcome your-self
- IV Be not wise in thine own eyes.
- V Despair blunts the edge of industry.

-◆.....
- (一) 知^ル足^ハ是^レ眞^ニ智^ニ也。
 - 足るを知るは是れ眞智なり。
 - (二) 凡^ソ刻^ク下^ク欲^ク望^ク。當^ニ禁^ニ遏^ス之^ヲ。
 - 凡そ一時の欲望は之をを抑制せよ。
 - (三) 大勝者^ハ克^ク己^ニ之^ヲ謂^フ也。
 - 大勝は己に勝つの謂なり。
 - (四) 勿^ク下^ニ自^ラ視^テ以^テ爲^ス吾^ノ賢^ニ矣^ト。
 - 吾れこそ賢しと思ふ勿れ。
 - (五) 失望^ハ鈍^ク勤^ニ勉^ニ之^ヲ及^ス。
 - 失望は勤勉の刃を鈍らす。

- I Silence is the sanctuary of truth.
- II Silence is a cheap virtue.
- III Strong minds are superior to bad fortune.
- IV Review your past actions.
- V Rage is a brief madness.

-◆.....
- (一) 沈黙^ハ。是^レ眞^ニ理^ノ之^ヲ所^ニ住^ス。
 - 沈黙中は理心散出せず。
 - (二) 沈黙^ハ。是^レ廉^ニ價^ニ易^ニ得^ル之^ノ徳^也。
 - 沈黙は容易に出来る善き行ひなり。
 - (三) 剛毅^ノ之^ノ心^ハ。勝^テ凶^ニ運^ニ。
 - 剛毅の心は凶運に勝つ。
 - (四) 須^ク查^シ汝^ノ竅^ノ之^ノ舊^ノ行^ヲ。
 - 過ぎたる日の行爲を調べよ。
 - (五) 忿怒^ハ。是^レ暫^ニ時^ニ之^ノ狂^也。
 - 忿怒は一時の發狂なり。

- I There is no grief which hope can not mitigate.
- II Virtue is the foundation of happiness.
- III Affliction is the wholesome soil of virtue.
- IV Anger and haste hinder good counsel.
- V Regard your reputation as the richest jewel.

-◆.....
- (一) 期望不能慰。天下無如。此憂愁。如何なる憂悶も期望さへあれば慰めらる。
 - (二) 德行。是福祥之基也。德行は福祥の基なり。
 - (三) 患難困苦者。修徳之良田。苦難は徳を修むるの良田。
 - (四) 忿怒與急躁。實沮人之忠言。忿怒と急躁とは人の忠言を寄せ付けず。
 - (五) 重汝之名譽。視猶至寶。汝の名譽を至寶の如くに重んぜよ。

- I Be just and firm of purpose.
- II We are deceived by outward show.
- III Govern your temper.
- IV Believe nothing rashly.
- V Humility is the high road to honour.

-◆.....
- (一) 其所志。要正而固。目的は正しく慥かなるを要す。
 - (二) 人爲外觀之所欺。人は外觀に欺かるる。
 - (三) 須自制其氣質。自ら自己の氣性を制御せよ。
 - (四) 勿匆卒信之。輕卒に物事を信する勿れ。
 - (五) 謙讓者。至光榮之大路也。謙讓は光榮に至るの大路なり。

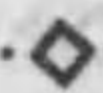
- I Be circumspect, lest your fall.
- II Concealed vice becomes incurable.
- III Let your actions correspond with your good report.
- IV Nothing is as pernicious as passion.
- V To be good, is to be happy.

-◆.....
- (一) 須^ル戒^ム慎^ム懼^ム身^ノ之^ノ覆^ス沒^ス。
用意周到なれ何時失敗するやも知れず。
 - (二) 匿^ス其^ノ不^善至^ル於^テ不^レ可^ク救^ム藥^ニ。
悪事を匿せば救ふべからざるに至る。
 - (三) 使^テ汝^ノ行^ハ動^ク與^テ汝^ノ令^聞相^符。
汝の行爲と令聞と一致せしめよ。
 - (四) 天^下之^ノ有^ル害^毒者^無如^ク情^欲。
世に情欲ほど有害のものなし。
 - (五) 行^ハ善^ハ是^レ福^也。
善を行ふは幸福なり。

- I Man's greatest wisdom is to know his failings.
- II Avoid that which you blame in others.
- III Bear your misfortune with fortitude.
- IV Bear and forbear is good philosophy.
- V He that hasty fishes in an empty pond.

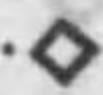
-◆.....
- (一) 自^知其^ノ過^ヲ是^レ謂^フ大^智。
自ら其過失を知る之を大智と謂ふ。
 - (二) 汝^ノ所^レ譏^ム于^テ人^ニ者^避之^ヲ勿^レ爲^ス勿^レ効^ス尤^也。
人より譏らるゝことは決して爲すこと勿れ。
 - (三) 宜^ク強^ク忍^テ以^テ堪^ル禍^難。
堅忍不拔以て禍難に堪へよ。
 - (四) 忍^耐與^テ禁^遏是^レ好^ク哲^學。
忍耐と禁遏は善き學問なり。
 - (五) 性^急躁^者漁^ム于^テ空^虛之^池。
性急躁なる者は水なき池に釣する。

- I No man is free who can not command himself.
- II Contentment is to the mind as light to the eye.
- III He is rich who is content with his condition.
- IV Prudence excels strength.
- V Brave is he who is prudent.



- (一) 不^レ能^ハ自^ラ制^ス其^ノ身^ヲ。非^ニ自^ラ由^ノ人^{ナリ}。
- 自ら其身を取締る能はざるは自由の人に
あらず。
- (二) 知^ル足^ル之^ヲ於^テ心^ニ。猶^ホ光^ノ之^ヲ於^テ眼^ニ。
- 足るを知るの心に於けるは猶ほ光の眼に
於けるが如し。
- (三) 自^ラ安^ム於^テ其^ノ現^在狀^ニ者^ハ富^ム也^{ナリ}。
- 自己の現在の境遇に満足する者は富める
なり。
- (四) 小^心謹^慎。愈^ニ於^テ勢^力。
- 慎重は勢力に愈る。
- (五) 慎^戒之^人有^レ勇^ム。
- 要心深き人は勇あり。

- I Vice stings us, even in our pleasures.
- II Strive to support a good name.
- III It is man's incumbent duty to meliorate his nature.
- IV A wise man knows his own ignorance.
- V He that refrains his lips is wise.



- (一) 快^心之^時邪^念尙^萌。
- 心の愉快なる時、尚ほ邪念の萌すことあり。
- (二) 須^ク保^ツ其^ノ令^名。
- 一度得たる美名を保つに力めよ。
- (三) 修^養矯^制。是^レ人^ノ本^分也^{ナリ}。
- 修養矯制は人の本分なり。
- (四) 賢^者自^ラ知^ル其^ノ無^識。
- 賢者は自ら其無識を知る。
- (五) 自^ラ矜^ム其^ノ唇^ヲ。爲^ル智^者。
- 自ら其唇を閉て語らざるは智者なり。

- I Incline to nothing base.
- II Virtue overcomes dangers.
- III A great genius will sincerely acknowledge his defects.
- IV Mildness is necessary to our own comfort.
- V Virtue and learning, like gold, has their intrinsic value.

- (一) 卑陋之事。皆拒而不近。^{フツ}
野卑なる事に心を傾くるな。
- (二) 德勝^ハ危難^ニ。
德は危難に勝つ。
- (三) 大才之人實自認^ム其弊^ヲ。
大才の人は眞に自己の短所を認む。
- (四) 自得^ト慰安^ニ無^ク要^ナ於^テ温良^ニ。
心穩かならんと欲せば温良なれ。
- (五) 德與^ト學^ト猶^ホ黃金^ニ。各有^ニ其^ノ眞價^{ナリ}。
德と學問とは猶ほ黄金の如し各其眞價あり。

- I Trust not the praise of a friend nor the contempt of an enemy.
- II No better masters than poverty and want.
- III Poor and content is rich and rich enough.
- IV Do not though fear of poverty surrender liberty.
- V Poverty is the mother of health.

- (一) 勿^レ信^ム友^ノ之^ノ讚^ト。與^ト仇^ノ之^ノ慢^ト。
友の賞讃と敵の慢罵とを信する勿れ。
- (二) 世無^ク貧乏^ニ以上^ノ之^ノ教師^{ナリ}。
世に貧乏以上の良師なし。
- (三) 貧^{シテ}而^モ安^シ是^レ富^也。富^{シテ}而^モ充^テ實^ス。
貧に安んずるは大に富めるなり。
- (四) 勿^レ恐^レ貧^ニ而^モ委^ス其^ノ自由^ヲ。
貧を懼れて身の自由を人に委する勿れ。
- (五) 貧^ハ是^レ健^全之^ノ母^{ナリ}。
貧は健康の母なり。

- I Always rise from the table with an appetite and you will never sit down without one.
- II Better lose a supper than have a hundred physicians.
- III Health and understanding are the two great blessings of life.
- IV He that goes to bed thirsty rises healthy.
- V He who never was sick dies the first.



- (一) 毎食七八分去^{ニシテ}膳。無^ニ就^レ膳不^ニ欲^レ食^ヲ。毎食空腹を感じんと欲せば宜しく飽食を慎むべし。
- (二) 夕^ニ廢^ニ一^ニ餐^ニ愈^ニ於^ニ百^ニ醫^ニ。
- 夕に一餐を廢すは百醫に愈る。
- (三) 健康與^ニ理解力^ニ是^レ人生之^ニ大^ニ福^也。
- 健康と理解力とは人生の二大幸福なり。
- (四) 忍^ニ渴^ニ就^レ寢^ニ。朝^ニ起^ニ而^テ健^ニ全^ニ。
- 健康ならんと欲せば就床前物を飲むべからず。
- (五) 未^ニ嘗^ニ病^ニ者^ニ却^ニ先^ニ死^ニ。
- 病を知らざる人は却て早世す。

- I The poor are rich when they are satisfied.
- II He is rich enough who does not want.
- III Rather a man without money, than money without a man.
- IV A cool mouth and warm feet live long.
- V After dinner sit a while, after supper walk a mile.



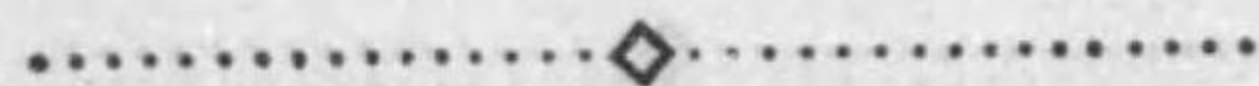
- (一) 知^レ足^レ則^レ貧^ニ亦^ニ富^ニ也^也。
- 足るを知れば貧者も亦富めるなり。
- (二) 人^ニ無^ニ他^ニ求^ニ。是^レ謂^レ富^ニ亦^ニ可^ニ矣^也。
- 分外の欲望なき人は富めりと謂ふべし。
- (三) 無^ニ人之^ニ錢^ニ。不^レ如^ニ無^ニ錢^ニ之^ニ人^ニ。
- 無主の錢は無錢の人に如かず。
- (四) 冷^ニ口^ニ温^ニ足^ニ之^ニ人^ニ長^ニ生^ニ。
- 冷口温足の人は長生す。
- (五) 晝^ニ餐^ニ後^ニ少^ニ時^ニ安^ニ坐^ニ。晚^ニ餐^ニ後^ニ步^ニ行^ニ一^ニ哩^也。
- 晝餐の後は暫時坐せ、晚餐の後は一哩歩

- I He who does not rise early never does a good day's work.
- II Out before day, in before night.
- III Who makes every-thing right must rise early.
- IV A good fame is better than a good face.
- V Better deserve honor and not have it, than have it and not deserve it.



- (一) 不早起者、決不能做日課。
早起させざる者は決して日課を能くせず。
- (二) 先日出先夜而入。
明けざるに出で暮れざるに歸るべし。
- (三) 處理事者、須夙起。
物事を完全に爲さんと欲せば早起させざるべからず。
- (四) 美名愈於美顔。
美名は美貌に優る。
- (五) 有名無實、不如有實無名。
實力なくして虚名を得んより寧ろ名なくして實力あるに如かず。

- I He that would be healthy must wear his winter-clothes in summer.
- II Health is not valued till sickness comes.
- III Health is better than wealth.
- IV Without health life is not life, life is lifeless.
- V Early to bed and early to rise makes a man healthy, and wealthy, and wise.



- (一) 欲健在者、夏時當着冬衣。
健康を欲する人は夏時に冬衣を着せ。
- (二) 得疾而始知健康之貴。
疾を得て始めて健康の貴きを知る。
- (三) 健康愈于富厚。
健康は富に優る。
- (四) 不健康則生非生。其生也無生。
健康ならざれば生存すると雖も死せるに等し。
- (五) 早起早寢使一人健富且賢。
早寝と早起とは人をして健、富、且つ賢ならしむ。

- I The first step to a good name is a good life, the next is good behavior.
- II It is a worthier thing to deserve honor than to possess it.
- III A book that remains shut is but a block.
- IV A good book is the best of friends, the same to-day and forever.
- V A library is a repository of medicine for the mind.

-◆.....
- (一) 得_レ令名_ニ有_ニ二道_ニ。曰_ク善_ク營_シ生_ヲ。曰_ク善_ク行_フ。令名を得るに二道あり曰く善く生を營むべし。曰く善行あるべし。
 - (二) 令聞_ハ不_レ如_ク有_ニ其實_ニ。令聞を有するより其實あるに如かず。
 - (三) 有_ニ書籍_ニ閉_リ而_レ存_ス之_ヲ。與_ニ木片_ニ同_ク。開かれざる書籍は木片に等し。
 - (四) 良書_ハ是_レ友中之尤也。今日同_ク。百年同_ク。良書は最良の友なり終始易ることなし。
 - (五) 圖書館_ハ是_レ心之醫院。圖書館は心の醫院なり。

- I Better with honor die than live with shame.
- II A good name is a rich inheritance.
- III A man had better die than lose his good name.
- IV A good name is better than a golden girdle.
- V He who hath lost his reputation is a dead man among the living.

-◆.....
- (一) 生_キ而_レ辱_ム不_レ如_ク死_シ而_レ榮_{ユル}。生きて耻あらんよりは死して榮あるに如かず。
 - (二) 令名_ハ是_レ富厚_ノ之_ノ世産_{ナリ}。令名は富める世産なり。
 - (三) 與_ニ喪_ニ其_レ令名_ニ也_{。寧_ク死_ス。}令名を喪はんより寧ろ死せ。
 - (四) 令名_ハ優_ニ於_ニ金帶_ニ。令名は黄金の帯に優る。
 - (五) 人_ハ失_フ其_レ名譽_ヲ是_レ活_ニ人中之死者_ノ耳_{ナリ}。名譽を失ひたる人は活人中の死者のみ。

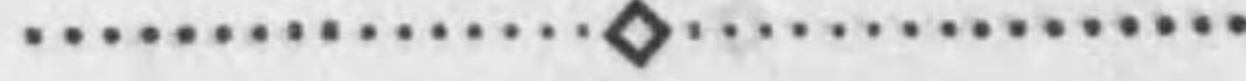
- I Make yourself a sheep and the wolves will eat you.
- II It is madness for a sheep to treat of peace with a wolf.
- III Feed sparingly and defy the physician.
- IV The four best physicians, Dr. Sobriety, Dr. Jocosity, Dr. Quiet, and Dr. Gold.
- V Be not arrogant when fortune smiles, nor dejected when she frowns.

-◆.....
- (一) 試行^ニ羊之事。狼將^ニ食^レ汝^ニ。
自己を羊の如くせば忽ち狼の爲めに食はる。
 - (二) 與^レ狼結^ニ和親^ニ是^レ狂羊。
狼と和親を結ばんとする羊は狂なり。
 - (三) 節食^{以テ}遠^レ醫^ヲ。
節食以て醫士を遠げよ。
 - (四) 世有^ニ四大名醫。曰醒心。滑稽。安靜。黃金。
世に四大名醫あり、曰く冷靜、滑稽、安靜、黃金。
 - (五) 勿^レ揚^テ抑^テ於^ニ運命^ノ之^レ笑^ヲ。
好運に慢する勿れ不運に落膽する勿れ。

- I There is no friend so faithful as a good book.
- II There is no worse robber than a bad book.
- III Drinking water neither makes a man sick, nor in debt, nor his wife a widow.
- IV Early birds pick up the crumbs. (worms)
- V It is the bridle and spur that make a good horse.

-◆.....
- (一) 世無^レ有^ニ誠實^ノ如^ク書籍^ノ之^レ友^{ナリ}。
良書は最良の友なり。
 - (二) 劫盜^ノ之^レ雄。尚^ホ不^レ及^ニ惡書^{ナリ}。
不良の書籍は最悪の盜賊なり。
 - (三) 飲^レ水者。不^レ罹^レ疾。不^レ起^レ債。不^レ寡^ニ其妻^{ナリ}。
水を飲む者は病を得ず、負債せず、其妻を寡婦たらしむることなし。
 - (四) 曉鳥啄^ニ食屑^ヲ。
早起の鳥は麵麩屑を拾ふ。
 - (五) 作^ニ良馬^者。鞭與^ニ鉤^也。
鉤と鞭とは良馬を作る。

- I To be angry is to punish myself for another's fault.
- II When angry, count ten; when very angry, a hundred.
- III Anger dieth quickly with a good man.
- IV Be what you seem to be.
- V Eat at pleasure, drink by measure.



- (一) 發怒是引人過以自罰也。
怒を發するは是れ人の過失の爲めに自己を罰するなり。
- (二) 怒時。心中計十個。大怒計百個。
怒りたるときは拾を數へよ、大に怒りたるときは百を數へよ。
- (三) 怒遇善人。倏息。
善人は直に怒りを忘る。
- (四) 汝宜如外觀。
飾らず作らず其儘にあれ。
- (五) 食欲適。酒有量。
食は欲するに従へ、酒は量を定めよ。

- I A good man is constant.
- II An angry man cannot see right.
- III An angry man is again angry with himself when he returns to reason.
- IV Anger without power is folly.
- V He that can reply calmly to an angry man is too hard for him.



- (一) 善人有恒。
善人恒あり。
- (二) 怒者。不能見條理。
怒りたる人は道理を見る能はず。
- (三) 怒者。既醒而又怒己。
怒りたる人既に醒むれば又己れを怒る。
- (四) 無力而怒愚也。
權力なくして怒るは愚なり。
- (五) 入怒我。泰然應之。則怒者屈。
沈着なる答は能く怒れる人を制す。

HOUSE-HOLD MANAGEMENT

齊

家

門

門 身 修

- I Men may blush to hear what they were not not ashamed to act.
- II Men take less care of their conscience than their reputation.
- III He that walks uprightly, walks surely.
- IV Duelling proceeds from cowardice.
- V Remembrance of past pleasure augments present pain.

.....◆.....

(一)人或耻^ハ聞^ク之^ヲ。而^{シテ}不^レ耻^ム躬^ヲ行^フ之^ヲ。
人は行ふを耻ぢざることを却て聞くを耻づ。

(二)人先^ニ其^ノ名^ヲ後^ニ其^ノ心^ヲ。
人は其名を得ることを先にして心を修むるを後にす。

(三)直^レ身^ヲ而^{シテ}歩^ク者^ハ不^レ躓^ク。
身を直にして歩む者は躓かず。

(四)闘^争生^ル於^テ怯^ム。
決闘は卑怯より生ず。

(五)過^去之^ノ樂^ハ今^ノ思^ハ之^ヲ加^フ苦^悶。
過去の樂は今之を思へば苦悶を加ふ。

- I A husband without ability is like a house without a roof.
- II In the husband, wisdom, in the wife, gentleness.
- III Abroad one has a hundred eyes, at home not one.
- IV A faithless wife is the shipwreck of a house.
- V A good wife and health are a man's best wealth.

-◇.....
- (一) 良人之無能。猶無屋背之家。夫の無能なるは猶ほ家に屋根なきが如し。
 - (二) 夫貴智。婦貴温。夫は才智を貴び妻は温順を貴ぶ。
 - (三) 出則有百眼。入則無雙眼。外に出れば百眼を有する夫も家にありては一眼をも有せず。
 - (四) 妻不信實。是家之破滅。妻の信實なきは家の破滅なり。
 - (五) 良妻與健身。是夫之至寶。良妻と健康とは夫の至寶なり。

- I Charity should begin at home.
- II A drunkard makes himself a beast, and then treats his family like a brute.
- III The wife is the key of the house.
- IV A good wife makes a good husband.
- V Discreet wives have neither eyes nor ears.

-◇.....
- (一) 惠施。宜自吾家始。惠施は吾家より始むべし。
 - (二) 酤者身先作獸。而獸視家人。大酒家は己れ先づ獸となり而して其家人を獸視す。
 - (三) 妻是一家之鎖鑰。妻は一家の鍵なり。
 - (四) 良妻。作賢夫。良妻は賢夫を作る。
 - (五) 妻有鑑識。不要耳目。分別ある妻は耳目を勞せず。

EDUCATION

教

育

門

齊 家 門

- I To make a happy couple the husband must be deaf and the wife blind.
- II A judicious woman that is diligent and religious is the very soul of the house.
- III A virtuous woman commands her husband by obeying him.
- IV It goes ill with the house when the hen sings and the cock is silent.
- V It is a sad house where the hen crows louder than the cock.

（一）夫欲^レ聾^フ。婦欲^レ盲^フ而吉耦成矣。

夫婦相和さんと欲せば夫は聾、妻は盲となるを要す。

（二）醇正之婦人。勤勉且虔敬。是一家之神髓也。

勤勉且つ敬虔にして思慮ある婦人は一家の神髓なり。

（三）有徳之婦。從順以制其夫。有徳の婦人は其夫を制するに從順を以てす。

（四）雌鳴而雄默。其家之凶也。

雌鶏鳴きて雄鶏默するは其家の凶なり。

（五）雌鳴凌雄。是凶家也。

雌鶏の鳴音雄鶏を凌ぐは不祥の家なり。

- I The bird that can sing and won't sing must be made to sing.
- II A colt you may break, but an old horse you never can.
- III Better untaught than ill-taught.
- IV A good example is the best sermon.
- V Train up a child in the way, he should go.



- (一) 啼鳴不鳴。必使_レ其鳴。
天性歌ふを得て歌ふを欲せざる鳥は必ず之を歌はしめよ。
- (二) 少馬可_レ馴。老馬否矣。
兒馬は馴す得べきも老馬は能はず。
- (三) 教而不_レ正。不如_レ無_レ教。
正しからざる教育を受けんよりは寧ろ之を受けざるに如かず。
- (四) 善行。是_レ至善教訓。
善行は至善の教訓なり。
- (五) 須_レ觀_レ其所_レ趣_レ以_レ教_レ育_レ兒童_ト。
其天性に適する所を察して兒童を教育すべし。

- I Example teaches more than precept.
- II He who teaches virtue is greater than a father.
- III A student has usually three maladies ; poverty, itch and pride.
- IV Every good scholar is not a good school-master.
- V Jhon has been to school to learn to be a fool.



- (一) 行事之教化。愈_レ於法語。
行事の教化は箴言に愈る。
- (二) 教道者之恩。大_ニ於父_ト。
道を教ふる人の恩は父よりも大なり。
- (三) 學生概_{シテ}有_三患_一。曰貧。曰疥癬。曰傲。
學生には概して三つの病あり、曰く貧、曰く疥癬、曰く傲慢。
- (四) 學者。不_ニ必_{シテ}良校師_ト。
學者は必ずしも良校長ならず。
- (五) 某登校以_テ學_レ爲_レ愚者_ト。
某は愚者たるを學ばんが爲めに通學せり。

RELIGION

宗

教

門

教 育 門

- I He that brings up his son to nothing breeds a thief.
- II What sculptures to a block of marble, education is to mind.

.....◆.....

(一) 未嘗教^テ育^フ其子^ニ是養^レ盜^フ也。

其子に教育を施さざる人は即ち盜賊を養ふなり。

(二) 一塊石待^ニ干彫像^ヲ猶^ホ人心之待^ニ干教育^ヲ。

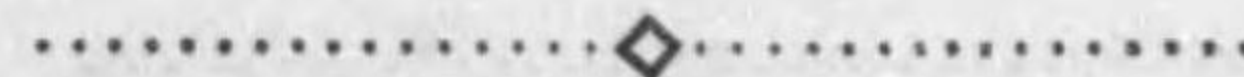
一塊石彫像に待つ猶ほ人心の教育に待つが如し。

- I Cheefulness is perfectly consistent with piety.
- II Nature sets every thing to sale for labour.
- III He who fears God does not fear man.
- IV Better rich in God than rich in Gold.
- V A thousand pounds and a bottle of hay, are just the same at doomsday.



- (一) 快心與敬虔。實相待而並行。
快心と敬虔と實に相待て並行す。
- (二) 天道具物以待勞者之需。
天道は物を具へて勞者の需めを待つ。
- (三) 畏天者。不畏人。
天を畏る、者は人を畏れず。
- (四) 與其富于金。寧富于天。
黄金は富まんよりは寧ろ信仰に富め。
- (五) 千金與束芻。終審之日無別。
千金も枯草の一把も世界終審の日には差別なし。

- I Devotion strengthens families.
- II The fear of the Lord is the beginning of knowledge.
- III An evil heart can make any doctrine heretical.
- IV Resist false doctrine, but call no man heretical.
- V Pure religion is the foundation of peace.



- (一) 敬神。則家人強壯。
信仰は家族を強壯にす。
- (二) 畏上帝。是智識之始也。
上帝を畏る、は智識の始なり。
- (三) 其心邪惡。何教不爲異端。
其心惡邪なれば如何なる宗教も異端とならん。
- (四) 宜與僞教。爭不。宜目人爲異端。
邪宗と争ふは善し。人を目して邪教者と爲す勿れ。
- (五) 純正宗教。是和平之基礎。
純正の宗教は平和の基礎なり。

SCIENCE AND ART

學

藝

門

宗 教 門

- I A wicked man is his own hell.
- II Avoid him who ridicules religion.
- III Carefully study nature, and look through nature up to nature's God.

(一) 悪人之身。即地獄。

悪人の身は即ち地獄なり。

(二) 輕謾宗教者須遠之。

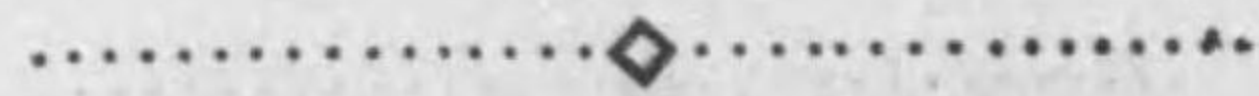
宗教を輕侮する者を遠けよ。

(三) 當留心觀祭造化之迹。則神若可見者。

心を留めて造化の迹を觀察すれば則ち上

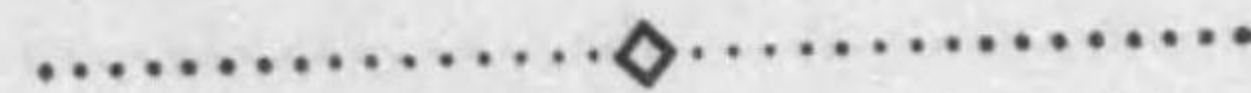
帝の存在を知るべし。

- I Learning improves genius.
- II Study to be useful.
- III Learning is better than house, land or money.
- IV Learning makes life sweet.
- V Learning is always both pleasant and profitable.



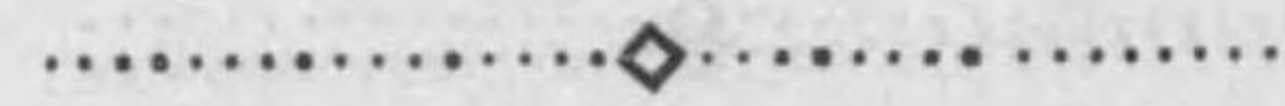
- (一) 學以長其才。
學は以て其才を長す。
- (二) 學期有用。
學は有用を期すべし。
- (三) 學問愈於家地錢三者。
學問は家屋土地金錢の三者に愈る。
- (四) 學問使人生有旨味。
學問は人生をして旨味あらしむ。
- (五) 學問常快且裨益。
學問は常に快心にして且つ裨益あり。

- I Assiduity accomplishes wonders.
- II Experience is the mother of science.
- III History teaches by example.
- IV Ignorance is the parent of many injuries.
- V It is never too late to learn.



- (一) 黽勉拮据。成非常之事。
黽勉拮据は非常の事を成す。
- (二) 實驗者。學問之源也。
實驗は學問の本なり。
- (三) 史以行事教人。
歴史は行事を以て人を教ゆ。
- (四) 無學。是衆害之源。
無學は諸の害惡の源なり。
- (五) 學物無既晚。
物を學ぶに既に晚れたと云ふことなし。

- I A man becomes learned by asking questions.
- II A handful of good life is better than seven bushels of learning.
- III He is sufficiently learned that knows how to do well, and has power enough to refrain from evil.
- IV It is no shame for a man to learn that which he knoweth not, whatever be his age.



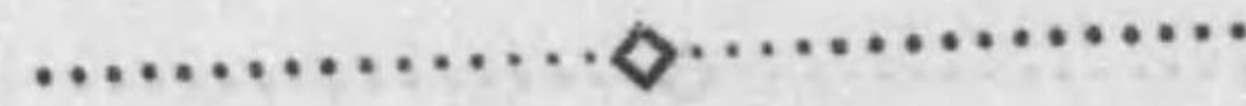
- (一) 學植^ハ成^ス于^ニ好問^ニ。
- 學者たるの道は問ふにあり。
- (二) 一握^ノ之^ノ善行^ハ愈^ニ於^ニ七斗^ノ之^ノ學問^ニ。
- 一握の善行は七斗の學問に愈る。
- (三) 其知^リ以^テ行^フ善^ヲ其力^足以^テ避^ク惡^ヲ其篤^ニ學^ブ之士^乎。
- 善を行ひ惡を避くることを得る人は篤學の士と謂ふべし。
- (四) 人無^シ老^少學^ブ其^ノ所^ニ未^ダ知^ル恥^レ之^ヲ有^ス。
- 人老少に拘らず其未だ知らざる所を學ぶは決して恥にあらず。

- I Art and science have no enemies but those who are ignorant.
- II By reading we enrich the mind, by conversation we polish it.
- III A few books well chosen are of more use than a great library.
- IV Every man ought to be trusted in his own art.
- V Poverty and hunger have many learned disciples.



- (一) 學藝^ニ無^シ仇^ヲ第^ニ仇^ト無^シ學^ブ之^ノ人^ト。
- 學藝には敵なし唯無學の人を敵とす。
- (二) 讀書^ヲ以^テ富^ム心^ヲ交談^ヲ以^テ磨^ク心^ヲ。
- 讀書以て心を富まし交談以て心を磨く。
- (三) 數冊^ノ之^ノ善本^ハ其用^愈於^ニ大書籍^館。
- 善く撰擇されたる數冊の本は其用大圖書館に愈る。
- (四) 人各^々要^ス信^ス賴^ス自^己之^ノ技^術。
- 人は各々自己の技術を信賴するを要す。
- (五) 貧^ト與^テ饑^ト之^ノ門^ニ有^シ幾^多學^ブ弟^子。
- 貧と饑とは多數の篤學なる弟子を有す。

- I The most learned are not the wisest.
- II Study makes learned men, but not always pious and wise.
- III The study of vain things is labourious idleness.
- IV Great scholars are not the shrewdest men.
- V Who robs a scholar robs the public.



- (一) 碩學之士。非大智。
碩學の士必ずしも大智者ならず。
- (二) 苦學作學者。不必作敬度與智慧之人。
苦學は學者を作る、されど必ずしも敬度と智慧の人とを作らず。
- (三) 學無益之事。是勞苦之惰人。
無益の勉強は多忙の怠惰なり。
- (四) 碩學無大機敏之人。
大學者に大敏腕家なし。
- (五) 奪一個學者。是奪其國也。
學者を奪ふは其國を奪ふなり。

- I Learning is the eye of the ~~of the~~ mind.
- II Learning makes a good man better and an ill man worse.
- III No man learneth but by pain or shame.
- IV Soon learnt, soon forgotten.
- V The learned man has always riches in himself.



- (一) 學問。是心之眼也。
學問は心の眼なり。
- (二) 學問使善人益善。惡人更惡。
學問は善人をして益善に惡人にして益惡ならしむ。
- (三) 不經苦與辱。孰能學得。
辛苦と耻辱とを経ずして孰か能く學ぶを得ん。
- (四) 忽學。忽忘。
學ぶこと速かなれば忘ること亦速かなり。
- (五) 學者。常自富。
學者は常に自ら富む。

WISDOM

智

愚

門

學 藝 門

I He who is afraid of asking is ashamed of learning.

.....◆.....
(一) 恐^ホ問^ト者。羞^ハ知^ル。

問ふことを恐るゝは知ることゝを羞ずるに等し。

- I The wise man keeps his tongue in his heart.
- II Self-exaltation is the fool's paradise.
- III A wise man will make a good use of his knowledge.
- IV A rich fool is a wise man's treasurer.
- V A fool is full of words.

-◆.....
- (一) 賢者。心中持舌。
賢者は心の中に舌を持す。
 - (二) 傲然自賢。是愚者之樂地。
傲然自ら賢とす、是れ愚者の樂地。
 - (三) 賢者善用其知識。
賢者は其知識を善用す。
 - (四) 富而愚者。智者之管庫人也。
富みて愚かなる者は智者の庫番人なり。
 - (五) 愚者弄饒舌。
愚者は多辯なり。

- I A fool's heart is ever dancing on.
- II Wisdom and virtue go hand in hand.
- III Experience makes fools wise.
- IV Fools are ever in extremes.
- V The fool has his heart on his tongue.

-◆.....
- (一) 愚者之心。常踊舞。
愚者の心は常に踊舞す。
 - (二) 智與德。相携而往。
智と徳とは相携へて往く。
 - (三) 經驗。使愚者爲賢人。
經驗は愚者をして賢人たらしむ。
 - (四) 愚者常爲太甚。
愚者は常に極端な事をする。
 - (五) 不肖者。舌上有心。
愚者は舌の上に心あり。

- I Every one is wise for his own profit.
- II He is the wise man who is the honest man.
- III An ounce of luck is worth a pound of wisdom.
- IV It is fortune, not wisdom, that rules man's life.
- V Learn wisdom by the folly of others.

-◆.....
- (一) 人皆有圖吾利之智。
人は皆吾が利を圖るの智あり。
 - (二) 正人即賢者也。
正しき人は即ち賢者なり。
 - (三) 僥倖之一銖。當智之一兩。
僥倖の一銖は智の一兩に當る。
 - (四) 制人生者。運也非人智。
人生を制する者は運なり、人智にあらず。
 - (五) 由人之過。以得智。
人の過ちを見て吾が智を得。

- I None but fools believe in dreams.
- II Success makes a fool appear wise.
- III A flow of words is no proof of wisdom.
- IV He is the wisest man who does not think himself so.
- V It is a great point of wisdom to find out one's own folly.

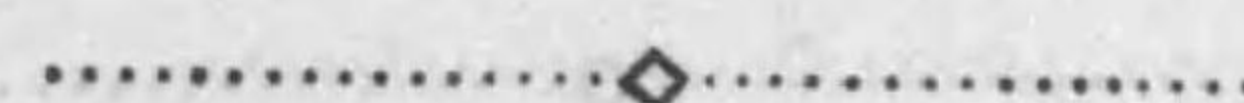
-◆.....
- (一) 非愚者。誰復信夢。
愚者に非ずんば誰か夢を信ぜん。
 - (二) 事成。愚夫亦似智者。
成功すれば愚夫も亦智者の如く見ゆ。
 - (三) 多辯非智識之證。
多辯は智識の證にあらず。
 - (四) 大智自不知其爲大智。
大智者は自ら其大智たるを知らず。
 - (五) 知自己之愚。是智之大主眼。
自ら己れの愚を知るは智の大主眼。

- I Wisdom is better than gold or silver.
- II Wisdom is a good purchase though we pay dear for it.
- III A wise man should never give his wife too much rein.
- IV Wisdom is to the mind what health is to the body.
- V No man is born wise.



- (一) 智貴^イ於金銀^ニ。
- 智は金銀よりも貴し。
- (二) 購^フ智識^ヲ萬金尙^モ爲^ル廉。
- 智識を購ふ、萬金も尙ほ廉なり。
- (三) 智者不^レ敢^テ緊^ニ制^ス其妻^ヲ。
- 智者は敢て其妻を束縛せず。
- (四) 智^ノ心^ニ於^テけるは猶^モ健^ニ之^ヲ於^テ身^ニ。
- 智の心に於けるは猶ほ健康の身體に於けるが如し。
- (五) 人未^レ有^ル生^シ而^{シテ}賢^ナ者^ヲ。
- 生れながらにして賢なる者はあらず。

- I A wise man will make tools of what comes to hand.
- II It is best to learn wisdom by the experience of others.
- III Too much wisdom is folly.
- IV 'Tis altogether vain to learn wisdom and yet live foolishly.
- V Wisdom in the mind is better than money in the hand.



- (一) 智者臨^レ機^ヲ以^テ作^ル其器^ヲ。
- 智者は臨機應變の處置をなす。
- (二) 由^リ人^ノ之^ノ經驗^ニ以^テ得^ル智^ヲ上^ル計^也。
- 他人の經驗によりて智を得るは上計なり。
- (三) 智有^ル餘^則愚^{ナリ}。
- 智多きに過れば愚に歸す。
- (四) 學^ビ智^ヲ而^{シテ}猶^モ行^フ愚^ヲ無^ク寸^ノ益^{ナシ}。
- 智を學びて猶ほ愚を行ふは寸益なし。
- (五) 心^中之^ノ智^ヲ愈^ニ於^テ手^中之^ノ錢^ニ。
- 心中の智は手中の錢に愈る。

- I A fool's heart dances on his lips.
- II A fool's tongue is long enough to cut his own throat.
- III A fool is like other men as long as he is silent.
- IV A fool wants his cloak in a rainy day.
- V A fool and his money are soon parted.

- (一) 愚者之心。舞於唇上。
- 愚者の心は其唇上に踊る。
- (二) 愚者之舌。過長自切其咽。
- 愚者の舌は長きに過ぎて自ら其咽を切る。
- (三) 愚者未語。亦猶人。
- 愚者も語らぬ内は人並なり。
- (四) 愚者遇雨。而求雨衣。
- 愚者は雨に遇ひて後雨具を求む。
- (五) 愚者忽失錢。
- 愚者は忽ち其錢を失ふ。

- I Most things have two handles, and wise men take hold of the best.
- II The wise is only once betrayed.
- III No one is wise enough to advise himself.
- IV No one is wise in his own affairs.
- V The wise man has long ears and a short tongue.

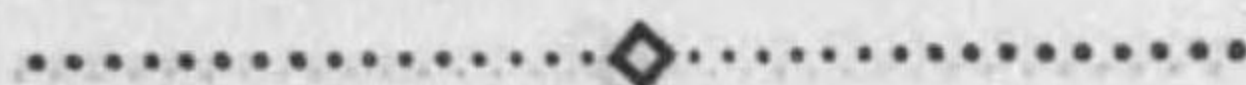
- (一) 物多有二柄。智者執其良者。
- 物には多く二つ柄あり智者は其良き方を取る。
- (二) 智者。或被欺。
- 智者も一度は欺かるゝことあり。
- (三) 智足。以自誠者。幾希矣。
- 自ら誠むる程智ある者は殆んど稀なり。
- (四) 人未可有智於吾事者。
- 何人も自己の事情に明ならず。
- (五) 智者。耳長而舌短。
- 智者は耳長く舌短し。

- I A man at five may be a fool at fifteen.
- II A man at sixteen will prove a child at sixty.
- III A fool must now and then be right by chance.
- IV A great fortune, in the hands of a fool, is a great misfortune.
- V Never challenge a fool to do wrong.



- (一) 吾歳如^{ニシテ}成人^ノ者^ハ十五歳^{ニシテ}或^ハ爲^ル愚人^ト。
- 或は愚人となる。
- (二) 十六歳^{ニシテ}如^シ成人^ト。是^ハ六十歳^{ニシテ}爲^ル兒^ノ之^ノ徴^ト。
- 十六歳にして成人の如き者は六十歳にして小兒となるの徴なり。
- (三) 愚者^モ亦^モ必^ズ有^ル幸^ニ得^ル正^ト。
- 愚者も亦早晚正當の行爲あるべし。
- (四) 愚者^ノ擁^ニ巨^ノ資^ト。是^ハ大^ノ禍^ト。
- 愚者の大資本を有するは大禍なり。
- (五) 勿^レ嗾^シ愚者^ト使^シ作^ル非^ト。
- 愚者を唆かして悪事をなさしむる勿れ。

- I A fool may chance to say a wise thing.
- II A fool laughs when others laugh.
- III A fool may ask more questions in an hour than a wise man can answer in seven years.
- IV A fool always finds a greater fool than himself.
- V A fool knows more in his own house, than a wise man in another's.



- (一) 愚者^モ亦^モ偶^ニ有^ル知^ル言^ト。
- 愚者も時に名言を發することあり。
- (二) 愚者^ハ人^ノ笑^ハ則^チ笑^フ。
- 愚者は人が笑へば己れも亦笑ふ。
- (三) 愚者^ハ一^ノ刻^ニ發^ス數^ノ問^ト。智者^ハ七^ノ年^ニ而^{シテ}對^シ之^ト。
- 愚者は一時に數問を發す智者は七年にして之に對ふ。
- (四) 愚者^ハ常^ニ竟^リ愚^ク於^テ己^ノ者^ト。
- 愚者は常に己より愚なる者を見出す。
- (五) 智者^ハ知^ル人^ノ家^ノ事^ト。愚者^ハ更^ニ多^ク知^ル吾^ノ家^ノ事^ト。
- 智者は人の家事を知る。愚者は更に多く己の家事を知る。

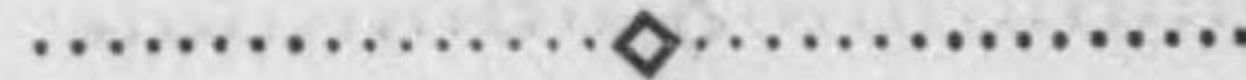
- I The more riches a fool hath, the greater fool he is.
- II The assistance of fools only brings an injury.
- III He is a fool who only hears himself speak.
- IV He is a great fool who forgets himself to feed another.
- V He who is born a fool is never cured.

- (一) 愚者富。則益愚。
愚者は富めば益々愚となる。
- (二) 助愚者。以從事。徒長禍耳。
愚者に助力するは徒に禍を長ずるのみ。
- (三) 不聽人言。而獨自語者。愚人也。
獨り自ら語りて人の言を聴かざる者は愚人なり。
- (四) 舍己而養人者。大愚也。
人を養はんが爲めで己を忘る、者は愚人なり。
- (五) 生來之愚。不可復醫。
生れながらの愚は醫すべからず。

- I A man may talk like a wise man, and yet act like a fool.
- II A barber learneth to shave by shaving fools.
- III It is better to please a fool than to anger him.
- IV Learned fools are the greatest of all fools.
- V He who listens to the advice of a woman is a fool.

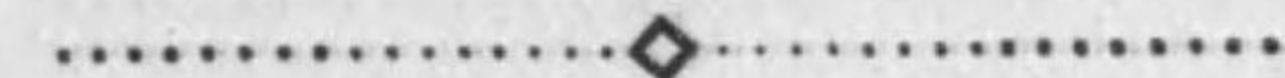
- (一) 聞其言。如智者。觀其行。如痴漢。者有之。
其言を聞けば智者の如きも其行ひ痴漢の如き者あり。
- (二) 理髮者。剃愚人之頭髮。以練其術。
理髮師は愚人の頭髮を剃りて其術を練る。
- (三) 使下痴漢。怒。不若使使其喜。
愚人を怒らしむるは之を喜ばしむるに如かず。
- (四) 學而愚。是愚人之雄。
學問ありて愚なる者は愚人の雄なり。
- (五) 婦言是聽者。愚人也。
女の言を聽く者は愚なり。

- I Better to weep with the wise than laugh with fools.
- II It is better to sit with a wise man in prison than a fool in paradise.
- III Fools are wise men in the affairs of women.
- IV He is a fool who cannot be angry, but he is a wise man who will not.
- V There is no one so wise that wine does not make him a fool.



- (一) 與_二愚者_一共笑。不_レ若_下與_二賢者_一共哭_上也。
愚者と共に笑ふは賢者と共に哭するに若かず。
- (二) 與_二愚者_一共居_レ宮。不_レ如_下與_二賢者_一共在_レ獄。
愚者と共に宮殿に居るよりも賢者と共に獄裏に在るに若かず。
- (三) 愚者於_レ女務_二爲_レ賢。
愚者は女にかけては賢し。
- (四) 賢者不_レ怒。愚者不_レ能_レ使_レ怒。
賢者は怒らず、愚者は怒からしむる能はず。
- (五) 酒不_レ能_レ愚_レ之_二世無_二斯_レ賢人_一也。
如何なる賢人も酒の爲めに愚とならざるはなし。

- I He is a fool that's wiser abroad than at home.
- II When fools have nothing to talk about they talk about the weather.
- III A wise man may look ridiculous in the company of fools.
- IV A wise man thinks all that he says, a fool says all that he thinks.
- V It takes a wise man to be a fool.



- (一) 在_レ外智_二於_レ家居_一者。愚人也。
外に出れば家に居るより智ある者は愚なり。
- (二) 愚者窮_二於_レ話柄_一則_レ語_二天氣_一。
愚者は話柄に窮すれば天氣を語る。
- (三) 愚群之一賢。可笑之觀有。
衆愚中の一賢人はをかしく見ゆ。
- (四) 賢者思_二其言_一。愚者言_二其思_一。
賢者は物を考へて後云ひ愚者は其思ふ所を直ちに云ふ。
- (五) 有_二賢者_一。人誤_レ以_レ爲_レ愚。
賢者は愚者と見誤らる。

- I There is no one so wise that he may not be cheated by a fool.
- II Every poor man is counted a fool.
- III A rich man without understanding is a sheep with golden wool.
- IV Foolish pride is laughed at by every one.
- V He that travels for knows much.

-◆.....
- (一) 愚者不能欺。世無斯智者。如何なる智者も愚者に欺かるべし。
 - (二) 貧人皆被愚視。貧人は皆愚視せらる。
 - (三) 富而無情義者金毛之羊也。富みて情義なき者は金毛の羊なり。
 - (四) 愚而慢則人皆嘲笑之。愚にして高慢なれば人に嘲笑さる。
 - (五) 遠旅者多見聞。遠く旅せる者は見聞多し。

- I He is not a wise man who cannot play the fool on occasion,
- II 'Tis sweet to play the fool in time and place.
- III The wise man knows he knows nothing, the fool thinks he knows all.
- IV The wise man knows the fool but the fool does not know the wise man.

-◆.....
- (一) 不能時装愚者。非賢者。時に愚を装ふ能はざる者は賢者にあらず。
 - (二) 於時與處行愚。有至味矣。時と處に於て愚を装ふは妙味あり。
 - (三) 賢者知其不知。愚者以爲無不知。賢者は自ら己れの知らざるを知り、愚者は自ら知らざることなしと思ふ。
 - (四) 智者知愚人。愚人不知智者。智者は愚人を知るも愚人は智者を知らず。

- I One whip is good enough for a good horse, for a bad one not a thousand.
- II Better say nothing than nothing to the purpose.
- III None but a fool distasteful truth will tell.
- IV Every truth is not to be told.
- V Anger resteth in the bosom of fools.

- (一) 良馬一鞭而有餘。驚馬千鞭尙不足。良馬は一たび鞭てば足る。驚馬は千たび鞭つも足らず。
- (二) 言不中其宗。不如默。無益なる理窟を言はんより黙するに如かず。
- (三) 非愚者誰説無味之理。愚者にあらずんば誰か無味の理を説かん。
- (四) 事理不一説得。眞理は一一説明し難し。
- (五) 怒也者住於愚人之胸。怒は愚人の胸に住む。

- I Travel makes a wise man better, but a fool worse.
- II It is bad to be between two fires.
- III It is a silly goose that comes to a fox's sermon.
- IV It is a blind goose that knows not a fox from a fern bush.
- V The old goose plays not with foxes.

- (一) 旅行使智者益智。愚者益愚。旅行は智者をして益々智に愚者をして益々愚ならしむ。
- (二) 置身於火間凶矣。前後に火を受くるは凶なり。
- (三) 來聽狐之法談。是愚鷺也。狐の法談を聴かんとして來るは愚鷺なり。
- (四) 不知狐自叢中出來。盲鷺也。狐の叢中より出で來るを知らざるは盲鷺なり。
- (五) 老鷺不與狐共遊。老鷺は狐と共に遊ばず。

COURAGE

勇

武

門

門 愚 智

I A little knowledge is a dangerous thing.

II Experience is the father of wisdom and
memory the mother.

(一) 小識危物也。

小識は危し。

(二) 經驗是智之父。記憶是智之母。

經驗は智之父、記憶は智の母なり。

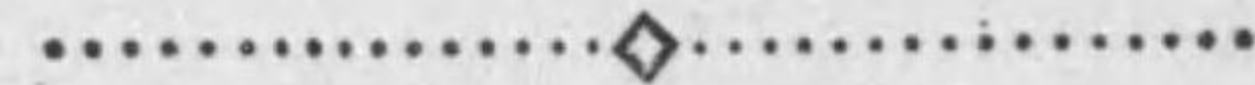
- I Where there is money there is no courage.
- II Eagles catch no flies.
- III The eagle does not war against frogs.
- IV Beware of a silent dog and still water.
- V An old wolf is not scared by loud cries.

- (一) 有_レ錢處。無_二勇氣_一。
錢ある處には勇氣なし。
- (二) 鷲。不_レ捕_レ蠅。
鷲は蠅を捕へず。
- (三) 鷲。不_レ與_レ蛙相闘。
鷲は蛙に戦ひを挑まず。
- (四) 戒_二慎乎默犬與_一止水。
默せる犬と静かなる水とに戒慎せよ。
- (五) 老狼。不_レ愕_二於_一高聲。
老ひたる狼は高聲に愕かず。

- I Virtue is hold, and goodness never fearful.
- II Courage is incompatible with the fear of death.
- III A courageous foe is better than a cowardly friend.
- IV Poverty breeds strife.
- V Without money, without fear.

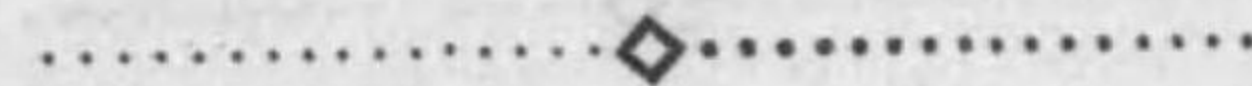
- (一) 仁者有_レ勇。善人無_レ懼。
仁者は勇あり、善人は懼るゝことなし。
- (二) 勇敢與_レ懼_二死_一。不_レ可_二並行_一。
勇敢と死を懼るゝの心とは並び立たず。
- (三) 勅敵。愈_二於_一怯友。
勇氣ある敵は卑怯なる友に愈る。
- (四) 貧_レ以_テ養_二奮勵之氣_一。
貧困は奮發心を養ふ。
- (五) 無_レ錢。無_レ畏。
錢なければ恐るべきものなし。

Nothing is difficult to the brave and the faithful.



(一) 勇敢敬虔之人。天下無難事。
勇敢にして敬虔なる人には天下に難事なし。

- I Better the wolf eat us than the fleas.
- II When one sheep is over the dam the rest follow. (one sheep follows another.)
- III It is no honor for an eagle to vanquish a dove.
- IV Self-trust is the essence of heroism.
- V Do what you consider right whatever the people think of it dispise its censure and its praise.



(一) 爲^ハ蚤^ノ食^ト。不^レ若^ク爲^ハ狼^ノ食^ト。
蚤に食ひ殺されんよりは寧ろ狼に食ひ殺さるゝに如かず。

(二) 一羊越^レ堤^ヲ。餘群隨^レ之^ニ。
一羊堤を踰ゆれば群羊之に隨ふ。

(三) 勝^レ鳩^ニ非^ズ鷲^ノ榮^ト。
鷲の鳩に勝つは名譽にあらず。

(四) 自信^ハ。是^レ勇^ノ本體^{ナリ}。
自信は勇の本體なり。

(五) 自^ラ以^テ爲^レ是^ト。則^チ敢^テ行^ク之^ヲ。人^ノ之^レ毀譽^於我^ニ何^カ有^ラ。
自らはと信ずる所を行へ人の毀譽我に於て何かあらん。

SANITATION

攝

養

門

1. What is the purpose of sanitation?
Sanitation is essential to the preservation of health and the prevention of disease. It involves the removal of waste, the control of insects and rodents, and the provision of clean water and proper disposal of sewage.

2. Why is sanitation important?
Proper sanitation is necessary to prevent the spread of many common diseases, such as cholera, typhoid, and dysentery. It also helps to reduce the risk of infection and promotes overall public health.

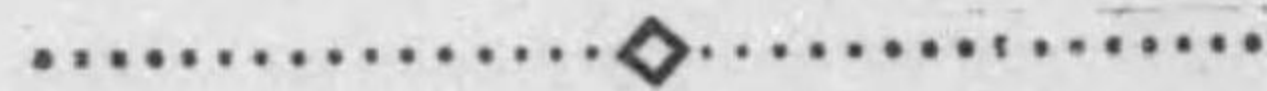
3. How can sanitation be improved?
Sanitation can be improved by implementing measures such as the construction of latrines, the provision of clean water, and the regular collection and disposal of waste. Education and community participation are also essential for successful sanitation programs.

1. 衛生の目的は何であるか？
衛生の目的は、健康の維持と疾病の予防にあり、これは、廃物の除去、昆虫と啮食動物の制御、清潔な水の供給、および汚水の適切な処理を含む。

2. なぜ衛生は重要なのか？
適切な衛生は、コレラ、チフス、および下痢などの多くの一般的な疾病の蔓延を防ぐために必要である。これはまた、感染のリスクを減らし、公衆衛生を促進する。

3. 衛生を改善するにはどうすればよいのか？
衛生を改善するには、トイレの建設、清潔な水の供給、および廃物の定期的な収集と処分などの措置を実施することが必要である。教育とコミュニティ参加も、成功した衛生プログラムにとって不可欠である。

- I He that wants health, wants every thing.
- II A hungry stomach has no ears.
- III Early rising is a great benefit to health.



- (一) 缺_レ健康_者。無_レ所_レ不_レ缺。
- 健康を缺く者は何事も皆缺く。
- (二) 餓胃無_レ耳。
- 餓へたる胃には耳なし。
- (三) 夙興大利_ニ於養生_ニ。
- 早起は大に健康に益あり。

- I Simple diet, healthy children.
- II Exercise conduces to health.
- III Gluttony kills more than the sword.
- IV Live not to eat, but eat to live.
- V Temperance is the best medicine.



- (一) 淡食健兒。
- 食物淡泊なれば其兒健かなり。
- (二) 運動致_ニ壯健_ニ。
- 運動は身體を強健にす。
- (三) 饕餮殺人_ニ過_ニ於劍戟_ニ。
- 暴食の人を殺すは刀劍より劇し。
- (四) 勿_ニ爲_レ食_ニ而_レ生_ニ。宜_ニ爲_レ生_ニ而_レ食_ニ。
- 喰ふが爲めに生きて居るな、生きる爲めに喰へ。
- (五) 節_ニ飲食_ニ是無上之藥。
- 飲食を節するは最良の藥なり。

**HUMAN
INTERCOURSE**

交

際

門

- I Be merciful to a fallen enemy.
- II Be a hero in the strife.
- III Forgiveness is the noblest revenge.
- IV A bitter jest is the poison of friendship.
- V A flatterer is a most dangerous enemy.

-◆.....
- (一) 宜^ツ哀^ス憐^ス落魄之仇。
 - 落魄せる敵を憐め。
 - (二) 宜^ツ爲^ル競争之勇者。
 - 競争場裏の勇者たれ。
 - (三) 寛恕者。報怨之最貴者也。
 - 寛恕は報怨の最も貴きものなり。
 - (四) 戯謔爲^ル虐^ク友之茶毒。
 - 悪戯は朋友間の茶毒。
 - (五) 詔諛之人。是至險之敵。
 - 詔ふ人は最も恐るべき敵なり。

- I Loose conversation is a proof of a weak mind
- II Money makes fewer friends than enemies.
- III Make yourself useful to your friends.
- IV He loves well who chastises well.
- V Difference of pursuits severs friendship.

-◆.....
- (一) 緩漫與人語。其心懦弱之證。
 - 締りなき會話は其心の懦弱を證す。
 - (二) 金錢作^ル友少。作^ル仇多。
 - 金錢は友を作ること少なく、敵を作ること多し。
 - (三) 吾身須^ル爲^ル朋友之所^ト有用視^ル。
 - 益に立つ人物と友達に思はれよ。
 - (四) 善矯^ク正^ス人^者。又善愛^ル人。
 - 善く人を懲ずる者は又善く人を愛す。
 - (五) 職業不同。而友義斷絶。
 - 職業異なれば友誼絶ゆ。

I You shall not lose by giving alms.

II Be kind to suppliants.

III Believe nothing rashly.

IV Spurn not an inferior.

V Yield to your superiors.

-◆.....
- (一) 施_レ於_レ人_ニ非_レ缺_レ損_一。
 - 人に施すは損失にあらず。
 - (二) 有_レ人_ニ來_テ懇_ニ請_ス。吾_ニ須_ニ厚_ク遇_フ之_ヲ。
 - 吾に懇願し來る者に親切なれ。
 - (三) 勿_レ輕_ニ率_ニ信_フ事_ヲ。
 - 何事も輕率に信する勿れ。
 - (四) 勿_レ慢_ル不_レ如_レ己_者。
 - 己に如かざる者を慢る勿れ。
 - (五) 宜_シ服_シ從_シ長_上者_ニ。
 - 長上の者に服従せよ。

I A full purse never locks friends.

II Faithful friend is a strong defence.

III He conquers who endures.

IV Pride usually accompanies promotion.

V Let not your own, but the public wishes, actuate you.

-◆.....
- (一) 囊_中滿_ル則_チ朋_友不_レ乏_一。
 - 囊中滿れば朋友乏しからず。
 - (二) 信_友是_レ堅_城也_一。
 - 信義ある友は堅固なる城の如し。
 - (三) 容_忍之_人終_ニ占_レ勝_一。
 - 忍耐強き人は勝つ。
 - (四) 傲_慢常_ニ繼_テ榮_達一_一。
 - 傲慢は常に榮達に繼く。
 - (五) 須_レ爲_ス衆_人ニ動_ク非_レ爲_ス我_ニ。
 - 民衆の爲めに活動せよ、自己の爲めになすな。

- I Look not at your watch in company.
- II Give not your advice unasked.
- III Listen when spoken to.
- IV A man is known by his speech.
- V If the counsel be good; no matter who gave it.

- (一) 在^リ衆人稠坐中^ニ勿^レ視^ル汝之辰鏢^ヲ。人中にて汝の時計を見る勿れ。
- (二) 人不^レ請^ハ則^チ不^シ忠告^ト。先方から頼まなければ忠告するな。
- (三) 有^レ人語^レ吾^ニ須^ク聽^ル之^ヲ。他人の言に耳を傾けよ。
- (四) 聽^テ其言^ヲ知^ル其人^ノ。其の言を聴きて其人物を知る。
- (五) 勸戒當^ル理^ニ何問^ハ其言者之爲^ヲ誰^ト。忠告理に當らば其言ひたる人の誰たるを問はず。

- I Give every one his own.
- II Have confidence, but be cautious in whom you place it,
- III Give places to your better.
- IV Consent to common custom, but not to common folly,
- V Believe after trial and judge before friendship.

- (一) 使^レ人各得^ル其所^ヲ。人々に其れ相當の職分地位を得させよ。
- (二) 須^ク信^ル之^ヲ。但其所^レ信何人。是所^レ宜^ク留^ル意^ト。人を信ぜよ、然れども何人を信すべきかは注意すべき所なり。
- (三) 有^レ賢^{ナル}於爾^者宜^ク讓^ル之^ヲ以^テ爾之地位^ヲ。汝に愈る人に汝の地位を讓るべし。
- (四) 可^ク從^ル流俗^ニ不^可從^ル流弊^ニ。流俗に従ふべし、されど流弊に従ふべからず。
- (五) 試^シ後信^ル之^ヲ交^ル前審^ル之^ヲ。試て後に信じ、交るに先て其人を確めよ。

- I He who gives unseen, is sincere.
- II Not by whom, but how.
- III Pride gains the ill-will of men.
- IV Kindness makes friends.
- V Never give a hasty reply.

- (一) 陰施_ニ於人_ニ是眞施也_ト。
人知れずに施すは眞の施なり。
- (二) 須_レ顧_ル其行爲如何_ト勿_レ問_フ其人爲_ル誰_ト。
其所業如何を考ふるは必要なり、其人の誰たるを問ふ勿れ。
- (三) 傲慢_ハ得_ル人_ノ惡意_ト。
傲慢なれば人に惡まる。
- (四) 敦厚_ハ作_ル朋友_ト。
親切は朋友を作る。
- (五) 勿_レ率爾_ニ而答_ス。
輕卒なる答をなす勿れ。

- I Mildness governs better than anger.
- II Follow the wise few, rather than the vulgar many.
- III He who often swears distrusts his own word.
- IV It is not easy to love those, we do not esteem.
- V Inconstancy is the attendant of a weak mind.

- (一) 悻々_ハ不_レ如_ク怡々_ノ之能御_ル人_ト。
柔和の人を御するは忿怒に愈る。
- (二) 與_ル其俗交衆_ト也_ト寧_シ賢友_ヲ寡_シ。
俗友多きよりは賢友寡きがよし。
- (三) 屢_シ誓_フ是自不_レ信_セ其言_ト。
屢々誓ふ者は自ら其言を信ぜず。
- (四) 愛_ス吾不_レ敬重_ス之人_ト不_レ易_シ。
己れの尊敬せざる人を愛するは容易ならず。
- (五) 其心懦弱_{ナル}其人必無_ク恒_ト。
其心懦弱なる人は恒心なし。

- I A civil denial is better than a rude grant.
- II Mercy to the vanquished.
- III Never forget a kindness.
- IV Despise not any man's condition.
- V Revenge is a mean-pleasure.

- (一) 禮拒愈於野語。
慇懃なる拒絶は無禮なる承諾に愈る。
- (二) 宜憐敗者。
敗者を憐むべし。
- (三) 不敢忘人之好意。
人の親切を決して忘るべからず。
- (四) 勿藐視人之境遇。
人の境遇を蔑視する勿れ。
- (五) 報怨是陋劣之快樂。
報怨は陋劣なる快樂なり。

- I Love covers many faults.
- II Deride not the unfortunate.
- III Grant with grace, and oppose with firmness.
- IV From the abundance of the heart the mouth speaks.
- V It is dangerous to take liberties with great men.

- (一) 愛情掩人之許多過失。
愛は人の許多の過失を掩ふ。
- (二) 勿嘲笑非運之人。
非運の人を嘲笑する勿れ。
- (三) 欣然許之。毅然抗之。
欣然之を許し、毅然之に抗す。
- (四) 充于心。而口語之。
心に充て後口之を語る。
- (五) 與豪傑褻親。危道也。
豪傑連と褻親するは危し。

- I Sneer not at that you can not rival.
- II So live with men, as if God saw you.
- III He toils in vain who strives to please all.
- IV Open rebuke is better than secret hatred.
- V Pardon others often, thyself seldom.

- (一) 勿_レ凌_下侮_下汝_ハ不_レ能_レ相_レ競_下之_人。
汝の及ばざる人を凌侮する勿れ。
- (二) 與_レ人居_ル。須_レ如_ク上_ニ帝_ヲ視_ル己_ヲ。
人と居る時神が己を視て居給ふと思へ。
- (三) 欲_ス使_下萬_ノ人_一盡_ク悅_レ服_ス徒_ラ勞_也。
總ての人を悦服せしめんとするは徒勞なり。
- (四) 顯_ハ責_ム愈_ニ於_テ隱_ニ怨_也。
面責は隱怨に愈る。
- (五) 數_ク赦_シ人_ヲ。罕_ク赦_シ己_ヲ。
人を恕すべし。されど己を恕する勿れ。

- I Have no fellowship with a slanderer.
- II Reprove mildly, and correct with caution.
- III That you may be loved, be deserving of love.
- IV Believe an experienced man.
- V Perform whatever you promise.

- (一) 勿_レ與_ス讒_人共_ニ事_ス。
讒人と事を共にする勿れ。
- (二) 温_ク言_テ以_テ責_ム人_ヲ。小_心以_テ正_ス之_ヲ。
温言以て人を責め小心以て之を正す。
- (三) 欲_セ人_ノ之_ヲ愛_ス己_ヲ須_ク吾_ニ有_ル受_レ愛_ス之_實。
人の愛を受けんと欲せば吾に愛を受くるの實あるを要す。
- (四) 須_ク信_ズ頼_ミ閱_ミ歴_ミ深_ク厚_ク之_人。
經驗深き人を信頼すべし。
- (五) 凡_ク與_レ人_ノ約_ス當_ク果_シ行_フ。
人と約束せしことは必ず之を果せ。

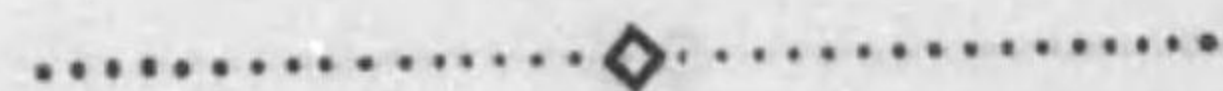
- I Associate with and revere virtuous and chaste women.
- II Always treat aged people with kindness.
- III Advice voluntarily given is generally unneeded,
- IV Give advice when asked, but even then sparingly.
- V There is no trusting to the countenance.

-◆.....
- (一) 婦之有德操者。宜敬親之。
徳あり操ある婦人を敬ひ親むべし。
 - (二) 須懇篤以遇老人。
常に懇ろに老人を遇すべし。
 - (三) 自我誠告。人多不留意。
吾れより忠告するも人は多く意に留めず
 - (四) 人求之則忠告。而尚吝於言。
人より頼まれるれば忠告すべし、されど成
る可く言葉少なくてよ。
 - (五) 人之顔色不可信憑。
人の顔色は當にならず。

- I Proud men have no real friends.
- II The man is wise, who speaks little.
- III A word once uttered can never be recalled.
- IV Sometimes, words wound more than swords.
- V You may know a foolish woman by her finery.

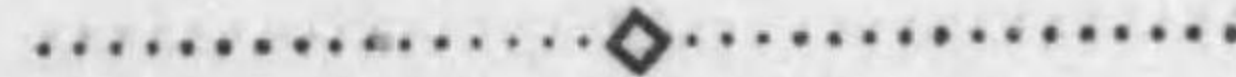
-◆.....
- (一) 傲慢之人。無一個真友。
傲慢の人には友なし。
 - (二) 言寡者智也。
寡言の人は智者なり。
 - (三) 既發之言。無由回收。
既發の言は回收に由なし。
 - (四) 言語之傷殘。時劇於刀劍。
言語の人を傷つくる時に刀劍よりも甚
し。
 - (五) 由華美以知愚婦。
其服裝の華美によりて愚婦を知る。

- I Faithful friend is the medicine of life.
- II Return a kindness.
- III At the gate which suspicion enters, love get out.
- IV Despise calumny.
- V Be ever vigilant, but never suspicious.



- (一) 信友者。生存之藥劑也。
信義ある友は生存の藥なり。
- (二) 人之厚意。須報之。
人の親切に對して報ゆる所あるべし。
- (三) 有門矣。疑入則愛出。
門あり疑之に入れば愛之より出づ。
- (四) 讒言。貌之勿聽。
讒言する者を卑めて取上げるな。
- (五) 謹嚴自守。不疑人。
謹嚴自ら守り人を疑はず。

- I Do good to your enemy that he may become your friend.
- II Beware of him that regards not his reputation.
- III That which covers thee. discovers thee.
- IV Where no counsel is, the people fall.
- V A friend is never known till needed.



- (一) 善遇其仇。彼將轉而爲汝友。
善く敵を遇せよ、彼轉じて汝の友とならん。
- (二) 須戒防乎不重其體面之人。
自己の體面を重んぜざる人に警戒せよ。
- (三) 陰汝者。曝汝。
汝を陰ふ者は又汝を曝す。
- (四) 無共謀者。而人廢矣。
相談相手のなき人は失敗す。
- (五) 有緩急。然後知朋友。
緩急ありて然る後朋友を知る。

- I A soft answer turneth away wrath.
- II Dependance and abedience belong to youth.
- III Entertain charity, and seek peace with all men.
- IV He doubles gift who gives in times.
- V A man is known by the company he keeps.

(五) 觀其所交。以知其人之。

其の交る所の人々を觀て其人物を知る。

(四) 當予輒予之。則倍其賜。

予ふべき時に予ふれば二倍の價值あり。

(三) 持慈善之心。以求和好於天下。

慈善心を携て世人と平和に著せよ。

(二) 依附與從順。屬年少之人。

依附と從順とは年少の人に屬す。

(一) 温言答之。翻回人之怒。

温言之に答ふれば人の怒を沈む。

- I Be just, but trust not every one.
- II A gift long waited for is sold, not given.
- III Who loves me follows me.
- IV A words to the wise is sufficient.
- V Envy shoots at others and wounds her-self.

(五) 嫉妬者欲射人却自傷。

嫉妬する者は人を射らんとして却て自ら傷く。

(四) 語賢者。一言而足矣。

賢者に語るには一言にして足る。

(三) 愛我者。必隨我。

我を愛する者は我が後に隨ひ來る。

(二) 使人久待。而後予之。是賣也。非予。

人をして久しく待たしめて後之に與ふるは賣るなり、與ふるにあらず。

(一) 須正己。勿每入信任。

正しかるべし、されど誰彼の差別なく信任するな。

- I Have no friendship with an unchaste women,
- II Never ridicule what you can not comprehend.
- III Expose not the faults of your parents or friends.
- IV Humility gains the approbation of men.
- V Never whisper in company.

-◆.....
- (一) 勿_レ與_ニ不貞之婦_一相_レ交_ト。
不身持の婦人と交際すべからず。
 - (二) 汝所_レ不_レ能_ニ理會_{スル}者_一。勿_レ嘲_ニ笑_{スル}之_ヲ。
汝の理解する能はざる事を嘲笑すべからず。
 - (三) 勿_レ露_{ハス}父母朋友之過失_ヲ。
父母、又は朋友の過失を暴露すべからず。
 - (四) 謙遜得_ニ人之褒揚_ヲ。
謙遜なれば人に稱揚せらる。
 - (五) 衆中。勿_ニ敢_テ或_ハ耳語_{スル}。
人中にて耳語する勿れ。

- I Would you know your daughter see her in company.
- II Seek a virtuous man for your friend.
- III Complaisance procures friends.
- IV Sincerity is the best persuasive.
- V Our reputation depends greatly on the choice of our companions.

-◆.....
- (一) 觀_ニ其友_ヲ以_テ知_ル其女子_ヲ。
其娘の人となりを知らんと欲せば其友を觀よ。
 - (二) 宜_ク下_ニ求_メ有德之人_ヲ以_テ友_トス_ル之_ヲ。
有徳の人を求めて之を友とせよ。
 - (三) 和順_ハ能_ク得_ル友_ヲ。
和順は能く友を得。
 - (四) 勸誘之道。莫_レ如_ニ誠實_ニ。
説得の極意は誠實にあり。
 - (五) 人之面目大係_ニ于擇_ム友_ヲ一事_ニ。
人の面目は大に友を擇むの一事に係る。

- I Every man has his hobby-horse.
- II When you have nothing to say, say nothing,
- III Be faithful to the end.
- IV Friendship increases with age.
- V Despise not your inferiors.

-◆.....
- (一) 人皆有^ニ其癖^ニ。
人には皆それぞれ癖あり。
 - (二) 無^レ可^レ語^ニ一^言。
語るべきことなき時には黙せよ。
 - (三) 守^テ信^ヲ終始如^レ一。
信を守て終始一貫せよ。
 - (四) 友義^ハ。歴^テ年^ヲ而彌^ル加^ル。
友誼は年と共に加はる。
 - (五) 勿^レ輕^ス吾^ガ眼^下之^ノ人^ヲ。
眼下の者を蔑む勿れ。

- I Discord destroys all friendship.
- II To Study men is more useful than to study books.
- III A foolish friend does more harm than a wise enemy.
- IV Doubt him who swears the truth of a thing.
- V Every man's faults are not written on his forehead.

-◆.....
- (一) 背^反。以^テ毀^ル友^誼。
不調和は友誼を破壊す。
 - (二) 學^レ人^ノ之^ノ用^ハ。愈^ル於^テ學^ブ書^ヲ。
人を學ぶは書を學ぶに愈る。
 - (三) 愚^友之^ノ作^ス害^ヲ。劇^シ於^テ賢^仇。
愚友の有害なるは賢き敵よりも甚し。
 - (四) 有^ニ一^事。誓^ヒ以^テ爲^ス信^然。其^ノ人^可疑^フ。
或る一事をこれこそ本當なりと云ふ人は疑はし。
 - (五) 人^ノ之^ノ過^失。未^レ有^ニ其^ノ額^面錄^レ之^者。
誰人も自己の過失を其額に書き出して置かず。

- I A friend without faults will never be found.
- II A ready way to lose your friend is to lend him money.
- III Everybody's friend is everybody's fool.
- IV He is no friend that eats his own by himself and mine with me.
- V He makes no friend who never made a foe.



- (一) 無過失之友。未嘗有之。
缺點なき友は決して求め得ず。
- (二) 失友有便方貸之錢耳。
友を失ふに方法あり之に錢を貸すのみ。
- (三) 萬人之友。是萬人之玩弄。
萬人に友たる者は萬人に侮らる。
- (四) 自食於其勞而與我食吾食者非友。
自力に食みて又我と吾が食を喰ふ者は友にあらず。
- (五) 不敢作敵者亦不作友。
絶て敵を作らざる者は亦友を作らず。

- I Be mindful of past favours.
- II Speak no ill of the dead, or of the absent.
- III True friends show themselves in adversity.
- IV Our liberality must not exceed our ability.
- V A beautiful face is a silent commendation.



- (一) 勿諶舊恩。
舊恩を忘る勿れ。
- (二) 不誹死者與坐外之人。
死者と其席に居らぬと人とを誹らず。
- (三) 時窮而見眞友。
逆境に臨みて始めて眞友を知る。
- (四) 惠施不超其力。
分外の施しを避けよ。
- (五) 美貌。是無言之推薦也。
美貌は無言の推薦なり。

- I He who has no enemy has no friend.
- II He is a good friend that speaks well of us behind our backs.
- III One should fly a laughing enemy and a flattering friend.
- IV So long as fortune sits at the table friends sit there.
- V The best friend often becomes the worst enemy.

-◆.....
- (一) 無_レ敵者。又無_レ友。
敵なき者又友なし。
 - (二) 背後譽_レ我者。吾良友也。
陰にて我を譽る者は吾が良友なり。
 - (三) 人當_レ避_レ笑仇與_レ諛友。
笑ふ敵と諛ふ友とを避けよ。
 - (四) 好運未_レ去_レ卓子_ニ諸友亦坐_ス。
好運の卓子に在る間は諸友も亦坐す。
 - (五) 至善之友。往々爲_レ極惡之友。
最善の友は往々最惡の敵となる。

- I A fair weather friend changes with the wind.
- II A false friend has honey in his mouth, gall in his heart.
- III A father is a treasure, a brother a comfort, but a friend is both.
- IV A friend is not so soon gotten as lost.
- V A friend to everybody is a friend to nobody.

-◆.....
- (一) 晴天之友。與_レ風共變_ス。
晴天の友は風と共に變ず。
 - (二) 僞友之口有_レ蜜。其胸有_レ胆汁。
僞友は口に蜜あり。其胸に胆汁あり。
 - (三) 父是_レ寶。同胞是_レ樂。朋友兼_レ之。
父は寶、兄弟は樂み、朋友は之を兼ねぬ。
 - (四) 失_レ友速_ニ於_レ得_レ之。
友は得難く失ひ易し。
 - (五) 友_ニ萬人_ニ者。無_レ一友。
萬人に友たる者は其實何人の友にもあらず。

- I A man dies as often as he loses his friends.
- II Among friends, all things should be in common.
- III He is not good himself who speaks well of everybody alike.
- IV If you would make an enemy, lend a man money and ask it of him again.
- V If we are bound to forgive an enemy we are not bound to trust him.

- (一) 人毎レ失_レ其友_ニ屢_ク死_ス。
人は其友を失ふ毎に屢々死す。
- (二) 萬事當_レ與_ニ朋友_ニ共_ニ之_ヲ。
朋友間は萬事を共にせよ。
- (三) 毎_レ人稱_ニ其善_ヲ矣此人却_レ不_レ善。
誰人をも賞揚する人は善人にあらず。
- (四) 作_レ仇_ヲ有_レ道貸_ニ錢_ヲ於_ニ人_ニ再_レ促_ニ其還_{付_ヲ}耳。
汝若し敵を作らんと欲せば人に錢を貸し再度返済を促せ。
- (五) 縱令_ニ義當_レ赦_レ仇_ヲ無_レ信_ニ委_ス仇_ニ之_{義_ト}。
縱令義に於て敵を赦すとも之を信任するの義務なし。

- I They cease to be friends who dwell afar off.
- II To a friend's house the road is never long.
- III Try your friend with a falsehood and if he keep it a secret tell him the truth,
- IV A joke never gains an enemy, but often loses a friend.

- (一) 居_レ相_{遠_{カレバ}}則_チ友_義休_ム矣。
住居相遠けば友義休む。
- (二) 訪_レ友_ヲ不_レ覺_ニ道_之遠_ト。
友を訪ふ道の遠きを覺えず。
- (三) 有_レ友_ニ試_ム告_レ詐_ヲ彼_ニ秘_シ之_ヲ則_チ可_ク以_テ告_ニ其_{實_ト}。
先づ虚偽を語りて其友を試みよ、彼能く秘して漏さざれば始めて其實を語るべし。
- (四) 諠_ヲ絶_レ不_レ得_レ仇_ヲ而_レ間_ニ喪_ニ其_{友_ト}。
戲謔は決して敵を作らず、されど往々其友を失ふ。

- I Much wisdom is lost in poor men's mouths.
- II Poor men's words have little weight.
- III A north wind has no corn and a poor man no friend.
- IV A poor man has few acquaintances.
- V Poverty and love are hard to hide.

.....◆.....

(一) 智皆經貧人之口則消。
如何なる名言も貧人の口より出づれば消ゆ。

(二) 貧人之言。輕於毛。
貧人の言は毛よりも輕し。

(三) 朔風無穀。貧人無友。
北風に穀なく貧人に友なし。

(四) 貧人無親知之人。
貧人に懇意の人なし。

(五) 貧與愛隱蔽不易。
貧と愛とは隠し難し。

- I He who does the wrong forgets it, but not he who receives it.
- II The evil which issues from thy mouth falls into thy bosom.
- III You may keep yourself safe from fire but a bad man.
- IV The feast passes and the fool remains.
- V It is better to associate with the half fool than the half wise man.

.....◆.....

(一) 行_レ惡者忘_レ之。被_レ惡者不_レ忘。
害を加へたる人は之を忘るゝも害を被りたる者は忘るゝことなし。

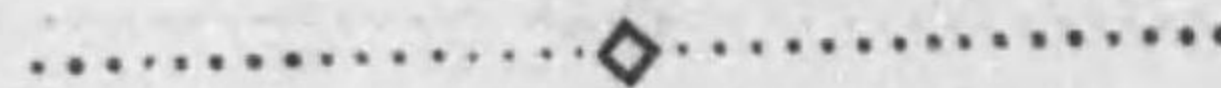
(二) 罪惡出_ニ於汝口_ニ。而歸_ニ於汝之胸_ニ。
汝の口より出でたる罪惡は汝の胸に歸る。

(三) 人或_ハ救_レ其身_ヲ於火中_ニ。而不_レ得_レ救_レ於惡友_ニ。
人或は身を火中より救ふも惡友より救ふを得ず。

(四) 宴罷_ニ。而愚者留_レ焉。
饗應が済んでも愚者は動かさず。

(五) 與_ニ半智_ト交_ハ不_レ如_レ與_ニ半愚_ト交_ハ。
半智の人と交るは半愚の人と交るに如かず。

- I A rich man's foolish saying pass for wise ones.
- II Riches cause arrogance, poverty meekness.
- III The rich man does not know who is his friend.
- IV The rich man has more relations than he knows.
- V A man should take as companion one older than himself.



- (一) 富者之愚言。人稱名論。富者の愚言は人名論と稱す。
- (二) 富生傲貧爲温。富めば驕傲となり貧すれば謙遜となる。
- (三) 富人不知孰爲吾友。富人は孰か吾が友たるかを知らず。
- (四) 富人之親戚。衆於自知。富人には自己の知らざる多くの親戚あり。
- (五) 人當友年長之人。人は須く年長者を友とすべし。

- I Poverty shows us who are our friend and who are our enemies.
- II The wise discourses of a poor man go far things.
- III The poor man's wisdom is as useless as a palace in a wilderness.
- IV At the door of the rich are many friends, at the door of the poor none.



- (一) 貧可以辨其友仇。貧困に陥りて後始て友の信不信を知る。
- (二) 貧人之名論。毫不行。貧人の名論は毫も行はず。
- (三) 貧人之智。如野中之宮殿。無可用。貧人の智は野中の宮殿の如し。實用に當らず。
- (四) 富者之門。人絡繹。貧人之門闕如。富人の門には訪客滿ち貧者の門には隻影なし。

- I He that wants money is accounted among those who want wit.
- II Once in every ten years one man hath need of another.
- III He deserves no man's good word of whom all men speak well.
- IV It is better to be beloved than honored.
- V A fair face may hide a foul heart.

.....◆.....
 (五) 淨面。可_レ以_レ掩_レ汗_レ心_レ。
 淨面は以て汗心を掩ふべし。

敬せらるるは愛せらるゝに如かず。

(四) 被_レ敬_レ。不_レ如_レ被_レ愛_レ。
 萬人の賞讃を受くる人は其實何人の賞讃をも受けざるに等し。

(三) 有_レ人_レ舉_レ世_レ讚_レ稱_レ。而其實不當_レ于一個人好言_レ。

(二) 十年一回。人各要_レ他人之力_レ。
 十年に一回人は必ず他人の力を要す。

(一) 無_レ錢_レ與_レ無_レ才_レ被_レ同_レ一_レ視_レ。
 無錢と無才とは世に同一視せらる。

- I He that is known to have no money has neither no friends nor credit.
- II He that has no money in his purse should have fair words on his lips.
- III Money lent, an enemy made.
- IV If a man's money be white no matter if his face be black.
- V If you have money take a seat, If you have none take to your feet.

.....◆.....
 (五) 汝若有_レ錢_レ。則坐_レ無_レ錢_レ則立_レ。
 錢あらば着席せよ、然らざれば立て。

所にあらず。
 錢さへ白ければ其持主の顔の黒きは問ふ

(四) 錢白_レ矣其主之面黑何_レ有_レ。
 錢を貸すは敵を作るなり。

(三) 貸_レ錢_レ。造_レ敵_レ也。
 懷中に錢なき者は唇上に美言あり。

(二) 囊中無_レ一物者。唇上必有_レ美詞_レ。
 錢なき人は友もなく、信用もなし。

(一) 無_レ錢_レ之人。無_レ友_レ。又不_レ被_レ信_レ。
 無錢之人。無友。又不被信。

- I Follow love and it will flee, flee love and it will follow thee.
- II Fortune and love are blind.
- III In love's wars, he who flieth is conqueror
- IV A sweet and innocent compliance is the cement of love.
- V Likeness is the mother of love.

-◆.....
- (一) 隨^レ愛^ハ則^ニ愛^ヲ遠^ク避^ク。我^レ避^ク愛^ハ則^ニ愛^ヲ却^テ隨^フ我^ニ。
愛は之を追へば却て遠ざかり之を避くれ
ば却て我に近づき來る。
 - (二) 運^ハ與^テ愛^ヲ盲目^{ナリ}也。
運と愛とは盲目なり。
 - (三) 兩^レ愛^ハ相^ツ戰^フ。其^レ敗^レ走^ル者^ハ勝^ル也。
愛の戦ひには遁けるが勝ちなり。
 - (四) 温^ク良^ク無^ク我^ノ之^ノ聽^ク順^ニ。是^レ愛^ノ之^ノ膠^シ漆^也。
温良無我の合致は愛の要諦なり。
 - (五) 好^ク惡^ク相^ツ如^ク。愛^ノ之^ノ本^也也。
好惡相如くは愛の本なり。

- I If the landlady's fair, the wine too is fair.
- II When wine enters modesty departs.
- III Who does not wish to be like the wolf, let him not wear its skin.
- IV You must howl with the wolves when you are among them.
- V The sheep that is too tame is sucked by too many lambs.

-◆.....
- (一) 主婦^ハ佳^クなれば酒^も亦^佳なり。
主婦佳なれば酒も亦佳なり。
 - (二) 酒^ハ入^ルれば慎^み去^ル。
酒入れば慎み去る。
 - (三) 不^レ願^ハ爲^ル狼^ノ。又^不衣^ク其^ノ皮^ヲ。
狼たるを欲せざる者は狼の皮を着すべからず。
 - (四) 在^テ狼^ノ群^ニ宜^ク狼^ノ吠^ス。
狼の群にありては狼の如く吼えざるべからず。
 - (五) 母^ノ羊^ハ過^ル順^ニ。則^チ過^ル多^ク之^ノ羊^ノ兒^ハ。爭^ヒ吸^ク其^ノ乳^ヲ。
母羊順に過ぐれば過多の小羊争ひて其乳を吸ふ。

- I Loveliness needs not the foreign aid of ornament, But is when unadorned adorned the most.
- II A lie begets a lie till they come to generations.
- III A lie carries ten others.
- IV "I heard one say so," is half a lie.
- V The liar is not believed when he speaks the truth.



- (一) 愛也者不要裝飾之外助、其不飾即所以大飾也。
- 愛は裝飾の外助を要せず其飾らざるは大に飾る所以なり。
- (二) 謔言生謔言、傳數世。
- 虛言虛言を生じ數世に傳ふ。
- (三) 一虛傳十虛。
- 一の虛言は十の虛言を伴ふ。
- (四) 曰吾聞人言如、是是半虛。
- 「人が斯く云へり」と云ふは半ば虛言なり。
- (五) 虛言之人、語、真人不信。
- 虛言者は時に眞實を語るも信ぜられず。

- I Love him who tells thee thy faults in private.
- II Love is not to be found in the market.
- III Love one that does not love you, answer on that does not call you, and you will run a fruitless race.
- IV Love will find out the way.
- V Old love and old brands kindle at all seasons.



- (一) 有レ人私舉ニ其過ヲ以テ諫レ汝宜レ愛ス斯人。
- 私に汝の過失を諫むる人は之を愛せよ。
- (二) 愛不可求諸市。
- 愛は市場に求め得べからず。
- (三) 愛不愛汝者對不呼汝者、然後可走無賞之賽場。
- 汝を愛せざる者を愛し汝を呼ばざる者に應對するは無益なり。
- (四) 愛之、則終得其道。
- 之を愛すれば終に其道を得。
- (五) 舊愛與古炭無時不燃。
- 舊き愛情と古き焦木とは燃え易し。

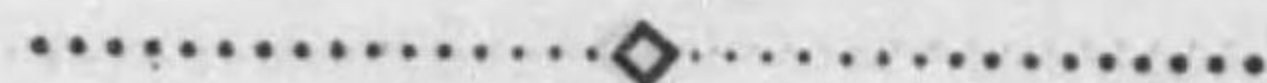
- I The greatest liars talk most of themselves.
- II A good word for a bad one is worth much, and costs little.
- III A man apt to promise is apt to forget.
- IV A man conducts himself abroad as he has been taught at home.
- V A man is not good or bad for one action.

- (一) 多談^{クダシ}己事^ニ。是大虚言子。
- (二) 對^{スル}惡辭^ニ之善辭。其值大費小。惡口に對するに善言を以てすれば、其失ふ所少なく得る所多し。
- (三) 易^キ約^{スル}者^ニ易^シ忘^ル。容易に約束する者は容易に忘る。
- (四) 家庭受^ケ教^ヲ。以^テ行^フ之^ヲ於^テ外^ニ。人の戸外に於ける行爲は、家庭の教化に基く。
- (五) 一行未^シ可^ク以^テ辨^ス其^ノ人^ノ之^ノ善^ヲ惡^ヲ。僅に一の行爲を以て其人の善惡を判すべからず。

- I Though love is blind yet 'tis not for want of eyes.
- II When poverty comes in at the door, love flies out at the window.
- III Who loves well chastises well.
- IV To love and to be wise are two different things.
- V Whom I love I beat.

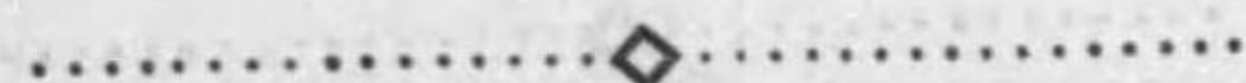
- (一) 愛也者盲也、而不^レ要^ス其^ノ眼^ヲ。愛は盲目にして而も決して其眼を要せず。
- (二) 貧從^テ戶^ノ入^ル。則^チ愛從^テ窓^ノ出^ス。貧戸より入れば愛窓より出づ。
- (三) 喜^ム責^ム者^ニ。喜^ム愛^ム。善く人を懲ずる者は善く人を愛す。
- (四) 愛^ト智^ト是^レ二個別體^{ナリ}。愛と智とは二個別體なり。
- (五) 吾^レ愛^ム之^ヲ故^ニ打^ツ之^ヲ。吾れ人を打つは吾れ其人を愛すればなり。

- I When we wish to employ a physician, a lawyer, a tradesman, or servant, the first-thing we regard, is his character.
- II Politeness is the expression of social virtue.
- III Quiet persons are welcome everywhere.
- IV Neglect not an old acquaintance for new one.



- (一) 凡欲用_レ人須_ニ先視_ニ其爲_ヲ人_ト。凡そ人を用ひんと欲せば先づ其の人物を見よ。
- (二) 禮儀_ハ。是_レ民間德義之發現也。禮儀は社會の德義の發現なり。
- (三) 寧靜_ノ人、到處見_ニ權待_ト。寧靜なる人は到る處にて好遇せらる。
- (四) 勿_レ爲_ニ新友_ト、遺_ニ故舊_ト。新なる友の爲めに舊友を遺る勿れ。

- I A man is one who is faithful to his word.
- II A man of words and not of deeds, is like a garden full of weeds.
- III A man that breaks his word, bids others to be false to him.
- IV A silent woman is always more admired than a noisy one.
- V He is a fool who thinks by force or skill, to turn the current of a woman's will.



- (一) 其言可_レ信。是_レ謂_レ人_ト。其言を重んずる人は眞の人なり。
- (二) 言不_レ顧_レ行_ヲ猶_ホ雜草滿_レ地之園_ト。言行一致せざる人は猶ほ雜草滿つる園の如し。
- (三) 食_フ其言_ニ者。令_ニ人欺_カ己_ヲ也_ト。其言に背くは人をして己を欺かしむるなり。
- (四) 靜女見_レ重_ト。躁婦則_レ否_ト。淑かなる女は躁がしき女よりも重んぜらる。
- (五) 欲_ニ因_ニ力_ヲ與_ニ巧_ヲ以_テ翻_ニ婦女之意_ヲ者_ハ愚也_ト。力と巧とを以て女の意思を翻さんと欲する者は愚なり。

BUSINESS MANAGEMENT

處

事

門

交 際 門

- I Go not every evening to your brather's house.
- II Observe the face of the wife to know the husbands character.
- III Cold neglect of friends, when in poverty is more severe than poverty itself.
- IV We gain strength by unanimity.

(一) 兄弟之家。不可每夜往訪。

兄弟の家にては毎夕之を訪ふべからず。

(二) 觀婦之面。以知其夫之人物。

妻の面を觀て其夫の人物を知る。

(三) 人冷視貧友。劇於貧其物。

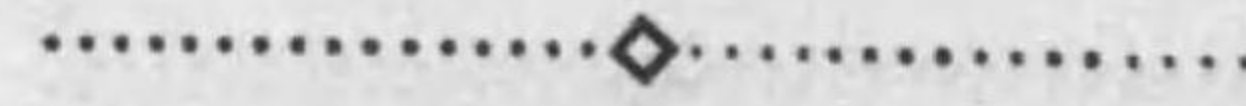
人は貧友を冷視すること貧其物よりも劇し。

(四) 人由同志之徒。得其勢力。

人は同志の徒によりて其勢力を得。

門 事 處

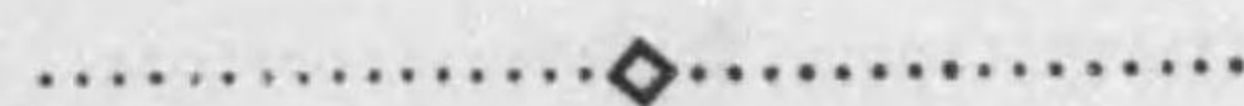
- I Always aim at what becomes you.
- II Trust not to outward show.
- III We must stand or fall by our own actions.
- IV Always pay when you buy.
- V Refuse the favours of a mercenary man.



- (一) 須^{スル}常志^ニ于^テ適^{スル}己^ニ者^ニ。
常に自己に適したる事に志すべし。
- (二) 勿^ス信^{スル}外^ニ觀^ヲ。
外觀のみを見て信する勿れ。
- (三) 吾^ハ人^ハ實^ニ由^テ自^ラ己^ノ行^ハ爲^ス起^ル仆^ス。
吾人は實に自己の行爲によりて起仆す。
- (四) 買^ハ物^ヲ必^ズ給^フ其^ノ價^金。
物を買はば其代價を拂へ。
- (五) 宜^ク卻^リ貪^ム婪^ム人^ノ之^ノ惠^ヲ施^ル。
貪婪なる人の惠施は受くべからず。

門 事 處

- I Precipitation will ruin the best laid designs.
- II Get just, use soberly, distribute cheerfully, and live contentedly.
- III Learn to live as you would wish to die.
- IV Attempt not, or accomplish throughly.
- V Never sign a writing till you have read it.



- (一) 輕^ム率^ニ。破^ル絶^ト好^ム謀^ル略^ヲ。
輕率は絶好の謀略を破る。
- (二) 正^{シク}取^ル。快^ク予^ヘ。慎^ミ用^ム之^ノ知^ル足^リ以^テ度^ル世^ヲ。
正しく取り、快く與へ、慎んで之を用ひ、
足るを知て以て世を渡る。
- (三) 移^シ欲^{スル}死^{スル}之^ノ心^ヲ。以^テ求^ム可^ク活^ク之^ノ道^ヲ。
死なんと思ふ心を移して以て活路を求む
るに用るよ。
- (四) 爲^ス事^ヲ必^ズ遂^ル之^ヲ。否^ト則^チ始^メ勿^ク爲^ス。
事を爲さば必ず仕遂げよ、然らざれば始
より爲す勿れ。
- (五) 要^ス讀^ム過^シ文^ヲ書^ヲ而^テ後^ニ署^ス名^ス。
文書は一讀したる後之に署名するを要
す。

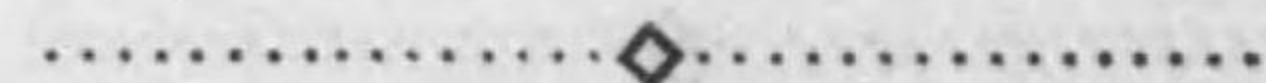
- I Imitate what is just.
- II Some are busy, and yet do nothing.
- III Sorrow's best antidote is employment.
- IV Business makes men.
- V Nothing is profitable which is dishonest.

-◆.....
- (一) 公正之事。當_レ學_レ之。
 - 公正の事は之を學ぶべし。
 - (二) 人或_ハ苦_ニ于多事_ニ而不_レ做_ニ一事_一。
 - 多忙ノヽと稱して其實何事をも爲さざる人あり。
 - (三) 醫_ニ憂愁之心_ニ莫_レ善_ニ於作事_一。
 - 憂愁の心を醫する作事より善きはなし。
 - (四) 事務造_ニ成人_一。
 - 事務は人を作る。
 - (五) 凡_ニ不正之事_ニ無_レ所_レ利_一。
 - 凡そ不正の事は得る所なし。

- I Redeem misspend time by assiduity.
- II Self-done is soon done.
- III Secrecy is the soul of all great designs.
- IV Great designs require great consideration.
- V Little and often fills the purse.

-◆.....
- (一) 勉強力勤_ヲ以_テ贖_ニ光陰之既空費者_一。
 - 勤勉以て過去空費の時日を填合すべし。
 - (二) 自作則速成。(己所當_ニ爲_ス者。勿_レ托_ニ於人_一)
 - 自分でやれば直ぐ出来る。
 - (三) 大謀_ハ以_ニ秘密_ニ爲_ニ其神髓_一。
 - 大計畫は秘密を以て其真髓となす。
 - (四) 大謀_ハ必要_ニ大慮_一。
 - 大謀は必ず大慮を要す。
 - (五) 些_ニ少_ニ而屢次_ニ其囊乃滿矣_一。
 - 少しづつ度重なれば財布滿つ。

- I Change seldom, for changes are inconvenient
- II Better late than never.
- III Run not into ruin with your eyes open.
- IV Deliberate slowly, execute promptly.
- V Labour brings pleasure ; idleness, pain.



- (一) 宜^ク罕^ニ變^ス更^ス之^ヲ以^テ變^ハ更^ハ不^ラ便^ナ故^ナ也[。]
容易に變更するな、變更は不便なればなり。
- (二) 時^ニ後^ニ爲^ル之^ヲ愈^ニ於^テ不^ニ敢^テ爲^ス。
後れて爲すは決して爲さざるに愈る。
- (三) 勿^シ開^キ眼^ヲ走^リ而^テ陷^ル筈^ニ。
眼を開きながら走つて筈に陥つる勿れ。
- (四) 慮^ル事^ヲ須^ク緩^ク行^フ事^ヲ須^ク急^ク。
事を慮るには緩なるべく、之を行ふには急なるべく。
- (五) 勞^ハ作^シ生^ル快^ク樂^ニ忘^ル惰^ハ生^ル愁^ク痛^ニ。
勞作は快樂を生み、怠惰は苦痛を生む。

- I Opportunities neglected are irrecoverable.
- II Opportunity makes the thief
- III Prevention is better than cure.
- IV Give and take,
- V Do not yield to misfortunes.



- (一) 因^テ循^ル失^レ機^ヲ不^レ可^ク復^ク得^ル。
因循機を失へば再び得べからず。
- (二) 機^ハ會^ハ作^ル盜^賊。
ふとしたことより泥棒することあり。
- (三) 預^ル防^ハ愈^ニ於^テ治^療。
豫防は治療に愈る。
- (四) 宜^ク予^テ則^テ予^ヘ宜^ク取^ル則^テ取^ル之^ヲ。
與ふべきものは與へ、取るべきものは取るべし。
- (五) 不^レ宜^ク屈^ル從^ス禍^難。
禍難に屈從すべからず。

- I Constant occupation prevents temptation.
- II Confidence bestows success.
- III Combine the useful with the pleasant.
- IV Strive to live uprightly.
- V Doing nothing is doing ill.

- (一) 恒業能過外邪之引誘。不斷の作業は能く外誘を防ぐ。
- (二) 自信行之則事成矣。自ら信じて之を行へば事成る。
- (三) 要有用與快樂並行。有用と快樂と並び行はるるを要す。
- (四) 毅然守正以度世。毅然正を守て以て世を度る。
- (五) 不做一事即做惡事也。何事をも爲さざるは即ち惡事を爲せるなり。

- I Men climb to honour by prudence and industry.
- II Industry prevents vice.
- III The first step to greatness is to be honest.
- IV Complain not of the shortness of life, but employ the time useful.
- V He who does his own business defileth not his fingers.

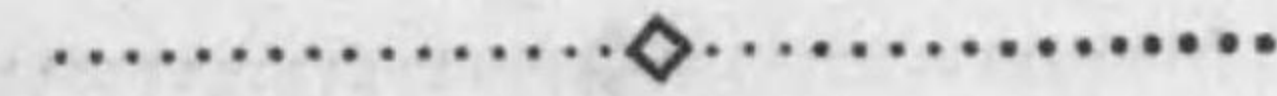
- (一) 人由謹慎與勤勉登於光榮之地。人は謹慎と勤勉とに由て光榮の地に登る。
- (二) 力作過非違。勞作は惡行を防ぐ。
- (三) 偉業第一着當出於正。偉業の第一着手として必ず正しきことを爲すべし。
- (四) 須用時日於實用勿憂生命之短。時日を有益に費すべし、生命の短きを憂ふる勿れ。
- (五) 從己之事者不汚其指。自分の仕事に従ふものは其指を汚さず。

- I Business makes a man as well as tries him.
- II By doing nothing we learn to do ill.
- III Grasp all, loose all.
- IV Good cause makes a stout heart.
- V Such as give ear to slander are worse than the slanderers.



- (一) 事務造^ル人。又能試^ム人。
事務は人を造り又能く人を試む。
- (二) 不^レ做^一事。由^レ是^ニ學^レ做^レ非^一。
何事をも爲さざるは惡を學ぶものなり。
- (三) 盡^シ數握^レ之則盡^シ數失^レ之。
悉く握らんとすれば悉く失ふ。
- (四) 好舉^ハ使^下人心^一強剛^ナ。
好舉は人心をして強剛ならしむ。
- (五) 聽^ク讒言^ヲ惡^シ於讒人其人^一。
讒言を取上ぐるは讒人其人より惡し。

- I Labour conquers every thing.
- II Make not your sail too large for your ship.
- III Bear and blame not, what you cannot change.
- IV Be slow to promise, and quick to perform.
- V Better to do well late than never.



- (一) 勤勉可^レ勝^ツ百事^一。
勤勉は萬事に打勝つ。
- (二) 製^ス帆必^ズ視^ミ其船之大小^一。
帆を作るには必ず其船の大小に視ふべし。
- (三) 汝所^レ不^レ能^レ易^ク者。宜^ク忍耐^{シテ}而無^ク咎^ム。
汝易ふる能はざる事は忍耐してやれ、不平を云ふな。
- (四) 宜^ク緩^ニ于約^ニ而急^ニ于遂^ニ。
約束するには緩に之を果すは速かなれ。
- (五) 善^ク做^ス其事^ヲ雖^モ遲^ク愈^ニ於不^レ做^一。
善く其事を爲せば遅しと雖も爲さざるに愈る。

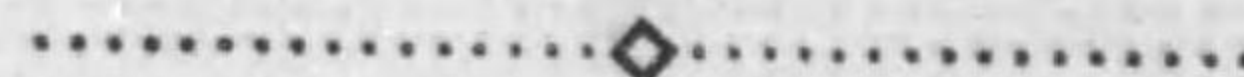
- I New circumstances, new counsels.
- II Let a thief to catch a thief.
- III He hath no leisure, who useth it not.
- IV Be superior to adversity.
- V Victory is gained by caution.

-◆.....
- (一) 新情境。要新謀議。
事情が變れば新なる相談を要す。
 - (二) 使賊捕賊。
賊をして賊を捕へしめよ。
 - (三) 不用暇時。與無暇時同。
暇の時間を川るざれば暇なきに等し。
 - (四) 須克伏患難。
患難に打勝つべし。
 - (五) 傲戒以占勝。
要心深ければ勝を占む。

- I A stitch in time saves nine.
- II A man of sense may be in a haste, but never in a hurry.
- III Act well your part.
- IV Think to-day, and speak to-morrow.
- V Strick the iron, while it is hot.

-◆.....
- (一) 一縫針投其機。則省九針。
肝心な處を一針縫へば九針を省く。
 - (二) 敏穎之人。時有快速。不取出于躁急。
機敏の人は快速の行爲あるも決して躁急に出でず。
 - (三) 汝所當爲。須善行。
汝の爲すべきことは善く之を爲せ。
 - (四) 宜今日思之。而明日言。
今日考へて明日言ふべし。
 - (五) 打鐵。當及其熱時。
鐵の熱せる間に之を打て。

- I To save time is to lengthen life.
- II Time passes like the wind.
- III To him that does everything in its proper time, one day is worth three.
- IV Man cannot buy time.
- V As good have no time as make no good use of it.



- (一) 節_レ時_ヲ是_レ延_命之_法。
時間を省くは延壽の法なり。
- (二) 光陰_ハ如_ニ風_ノ過_去。
光陰は風の如く過ぎ去る。
- (三) 處事_得其_時宜_則一_日值_ニ三_日。
處事其時を得れば一日も三日に値す。
- (四) 人_ハ不_能購_ニ時_刻。
人は時を購ふ能はず。
- (五) 不_利用_ニ時_子與_レ無_ニ時_子同_レ。
時間を利用せざれば時間なきに等し。

- I Prove thy friends ere than have needed.
- II Try your friends ere you trust him.
- III If I wished to punish an enemy, I would make him hate somebody.
- IV Never fight an enemy while it is possible to cheap him.
- V One wrong step may give you a great fall.



- (一) 欲_レ籍_ニ其_力須_ニ先_驗其_友。
友の力を籍らんとせば先づ其人物を試みよ。
- (二) 先_試之_ヲ然_後信_ニ其_友。
先づ試みて後其友を信ぜよ。
- (三) 欲_レ罰_ニ仇_須使_ニ其_憎別_人。
仇を罰せんと欲せば仇をして別人を憎ましめよ。
- (四) 術_數未_レ竭_母敢_テ開_戰。
術數未だ竭きざれば敢て開戦する勿れ。
- (五) 一_舉之_失可_ニ以_致大_敗。
一步を誤れば千里の差を生ず。

- I The time to come is no more ours than the time past.
- II Have you some-what to do to-morrow, do it to-day.
- III Never deter till to-morrow that which you can do to-day
- IV No one has ever seen to-morrow.
- V No one can call buck yesterday.

-◆.....
- (一) 將來之時。非吾之有。猶過去之時。將來の時の吾が有にあらざるは猶ほ過去の時の如し。
 - (二) 有事明日將做之。須今日做了。明日爲すべき事あらば今日之を爲せ。
 - (三) 有事今日可_レ以_レ做_レ得。不_レ敢_レ讓。諸明日。今日爲し得べき事を明日に延す勿れ。
 - (四) 人未嘗觀_レ明日。何人も未だ嘗て明日を見たる者なし。
 - (五) 何人不能_レ召_レ還_レ昨日。何人も昨日を呼戻す能はず。

- I All the treasures of the earth would not bring back one lost moment.
- II Time is money.
- III Time flies like an arrow.
- IV Lost time never returns.
- V Every thing has its time and that time must be watched.

-◆.....
- (一) 舉_レ一世之貨。不能_レ還_レ既去之一刻。全世界の財貨を舉ぐるも既に去りたる一刻を取戻す能はず。
 - (二) 時_ハ是_レ貨。時は金なり。
 - (三) 光陰_ハ如_レ飛_レ矢。光陰は飛矢の如し。
 - (四) 時不_レ復_レ歸。光陰一度去れば復た歸らず。
 - (五) 事物皆有_レ其_レ時。要_レ留_レ意_レ於_レ斯_レ時。事物皆其時機あり留意を怠る勿れ。

- I He that mindeth not his own business shall never be trusted with mine.
- II He that thinks his business below him will always be above his business.
- III Sour work—sweet sleep.
- IV He who would rest must work.
- V A work ill done must be twice done.



- (一) 有人不留意於自己之事。是不可以托事。
自己の職務に忠實ならざる人に決して吾が事を托すべからず。
- (二) 以其事務以上。自薦者。蔑視之。
自己の力を過信するものは己の業務を蔑視す。
- (三) 酸勞甘眠。
大に働かざれば楽しき眠を得る能はず。
- (四) 欲休息。要勞作。
休まんと欲せば働かざるべからず。
- (五) 作之不佳。要再作。
粗造は改造を餘義なくせらる。

- I A joyful evening may follow a sorrowful morning.
- II The morning is wiser than the evening.
- III The morning sun never lasts a day.
- IV Buy your neighbor's ox and woo your neighbor's daughter.
- V Business before pleasure.



- (一) 樂夕或繼哀旦。
樂しき夕は哀しき朝となることあり。
- (二) 人概旦賢於夕。
人は概ね朝は夕より賢し。
- (三) 朝暾不終日留。
朝暾は終日續くものにあらず。
- (四) 先購鄰人之牛。然後求婚於其女。
先づ鄰人の牛を購ひ然る後婚を其娘に求めよ。
- (五) 先苦後樂。
先づ働きて後樂む。